

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Oral English I	1	前期	必修	はい	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course is separated into two sections: Skills and Communication. For this class, I taught "Skills". We used the textbook "Four Corners 1" (Cambridge), which guides students through practical exercises aimed at improving spoken English skills. Students engaged in listening practice, dialogue drills, information gap exercises, role plays, reading comprehension, and vocabulary building for the second half of the textbook.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on 5 criteria (passive participation 15%, active participation 45%, homework 20%, and a final test 20%). The average student received a grade in the 75-90 range.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were very enthusiastic, positive, and willing to learn. This positive outlook contributed to a high level of participation and increased understanding of the material. Opportunities to build skills (DP5) were provided throughout the course with many students taking advantage of the opportunity to learn.</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>Goals for the next term include continuing to improve integration of supplementary materials into the current curriculum and increasing opportunities for kinesthetic learning (space permitting).</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>Streamlining and improving note taking and completion of class preparation exercises will improve the accuracy of individual assessment and keep students focused on class objectives.</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	十時 康

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
TOEIC演習A	1・2・3	前期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>TOEIC演習の中でもAということで、初回のアンケートでTOEICの受験の有無を尋ねた。未受験者がほとんどであり、TOEIC自体がどのような試験であるかという予備知識もほとんどない状態でのスタートとなった。授業評価アンケートでも受講動機として「単位取得のため」という消極的なものを選択した学生が半数以上いた。以上を考慮して授業で扱うTOEICのパートを絞り、まったくの初心者でも挑みやすいものだけに焦点を当てることにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				どちらともいえない	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の分布をみるとSが2人、Aが5人、Bが6人、Cが7人であった。授業で扱うパートを優しいものにしたことと、期末試験も授業で扱った問題を多く出したことを考慮すれば、復習の不足を感じずにはいられない。</p> <p>また成績判定では毎回単語の小テストを行い、その点数を全体の成績に加えた。学生の学習量、自由記述を見ても単語の小テストの対策を一生懸命に行っていたことがわかる。ただし、小テストの点数はよくできた学生とそうでない学生の差があった。最終的に成績の30%に換算したのだが、30点満点中20点以上を取得したものは少数で、半分に満たない学生もおり、そうした学生はやはり期末試験の成績も低い傾向にある。語彙力が反映されている形だと思われる。</p> <p>小テストの平均、期末試験の平均を見てももう少し底上げを図りたいところだ。以上から「やや達成された」との評価をくださった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>専門分野との関連での到達度評価では「知識の確認、修正～」の項目がもっとも高いものであった。また「学びを深めたいと意欲を～」という項目も高いものであった。技能表現という点でいうと(8)のコミュニケーション力や表現力を～という項目では半分が③の「まあまあ」を選択していた。</p> <p>本授業は選択科目であるということ、資格試験対策ということと専門分野との関連付けに苦慮する面はあったが、学生の到達度自己評価を見る限りは悪くない数字であったと考えている。</p> <p>TOEICを取得することで開けてくる世界、またその過程で得られるもの、考え方、学習のしかたなどをもっと強調するべきだったかもしれない。以上のような反省点はあるものの内容妥当性としては問題のないレベルであったと考えている。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に  
お示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し  
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン  
ターネット利用」学生の意見など

本授業では初心者向けとして、単語の学習、英文の精読の方法と音読など、「英語の勉強のしかた」に焦点を当てた。学生も課題に対してまじめに取り組み授業での音読なども積極的に行っていた。勉強のしかたがわからない学生に向けてある程度は有意義な授業ができたと思っている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

次年度はTOEIC演習Eを担当する予定である。Aよりもよりレベルを上げた授業展開をすることと、以上の反省を踏まえて専門分野との関連性などを考慮した授業展開を計画したい。

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	那須 省一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
TOEIC演習C	1・2・3	前期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「単位数確保のため」と「TOEICに関心あり」と答えた学生がほぼ半数だった。TOEICは制限時間内に与えられた問題にいかにも迅速に、的確に答えるかというテスト。高得点を上げるには語彙力を増やすだけでなく、出題のポイントを理解し、要領よくさばっていく慣れが肝要。「場数を踏む」ことが大切ともいえる。それで、授業では受講生にできるだけ数多くの問題に触れさせた。その上で6、11回目の授業では小テストを実施し、学生の理解度を確認するとともに、寸評を付記し、激励した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>小テスト実施時の理解度と最終の定期試験時の理解度を比較すると、大半の学生が大幅に理解度をアップさせていた。再試対象者はゼロであり、全体において目標は達成したと考えている。学生の到達自己評価を読むと、7割を超える学生が「まあまあそうだと思う」以上の自己評価をしている。「授業の質評価」の項でも8割を超える学生が一定の評価を与えてくれている。ただ、TOEICの受験学習ではインターネットの活用が有益だが、残念なことに、インターネットを利用したと答えた学生は皆無だった。講師(私)の指導が行き届かなかった証左と厳しく受けとめている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>好むと好まざるにかかわらず、TOEICである程度の高得点を獲得するのは多くの就職活動の場で求められる時代。妥当だと思う</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に教えてください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては総じて、「まあまあだと思う」以上の評価を得ていた。ただし、担当教員への意見を読むと、「解説が分かりにくかった。早口でたまに聞きづらかったです」「説明が分かりにくかった」というものがあった。大いに反省したい。また、「もう少し問題数を減らして、たまには1つにかかる時間がほしいと思いました」という意見があり、これは今後の参考にしたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>シラバスの授業概要欄で、「将来ビジネスで使える英語力として、少なくとも在学中にTOEIC550 点を目指せる基礎固めを行なう」と記した。授業内容はその線に沿って進めており、定期試験の成績から判断すると、概ね、目標は達したと思う。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
アジア観光文化交流論	3・4	前期	選択	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「単位数を確保する」51.5%、「関心のある内容である」45.5%、「友人が履修している」12.1%、「資格取得に必要である」3.0%となっております。今までより、この授業に関心のある学生が増えましたが、もっと学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト(レポート作成と発表)を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は84点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては91%、意欲関心に関する問題は91%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、12%で、インターネットの利用に関しては、29%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心に関する達成度が割に高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジア観光文化交流論」となっており、インバウンド観光を勉強しているの、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が94%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化交流論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
インターンシップ	3・4	前期	選択	いいえ	55

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は受講生の関心度の高さが示すように学生が間近に迫っている就職活動への準備と何よりも「働くことの意味」と「企業とはなにか」を理解する事に重点をおいている。授業準備は特に要求していない。これは授業内容の演習課題による授業内容の理解補強を重視しているからである。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>知識理解(DP1)、意欲関心(DP3)、態度(DP4)とともに、到達度自己評価(2)、(6)、(9)、(10)の結果から全体を通して「やや達成された」と思われる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>就業体験後の報告書からは学生の職業意識の向上は達成されたと思われるが、就業先によっては学生の期待とはかけ離れた就業体験内容となっていることもあり、事前の体験内容リサーチが課題ではあるが、それを担当教員のみで行なう事は非常に困難であり、また企業側の都合もあるため実現可能性は高くない。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>この授業は企業での就業体験が主たる目的であり、就業体験前の授業内容は、その準備という位置づけから「話し合う」「発表する」等学生参加型授業ではないし、今後も取り入れる考えは全くない。本学科3年次にもかかわらず、学生の礼儀・作法のレベルがあまりにも低いため、むしろ、企業に派遣して恥ずかしくない、派遣先で問題を起こさないレベルの準備をさせる。さらには本学ブランドを失墜させないためには、学生の意見を尊重する必要はなく、講義型の授業がふさわしいと思われる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>就業体験後の報告書からは学生の職業意識の向上は達成されたと思われるが、就業先によっては学生の期待とはかけ離れた就業体験内容となっていることもあり、事前の体験内容リサーチが課題ではあるが、それを担当教員のみで行なう事は非常に困難であり、昨年度と変わらない。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア・デザイン論	3・4	前期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は福岡県内のさまざまな業界の講師によるリレー講義である。業界の現状、仕事での経験、就職活動のアドバイス等で構成された。授業での重点は学科特性と受講生の興味等を勘案しての講師手配である。この科目の性格上学習準備性は特に意識していない。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された		達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	アンケートの「到達度自己評価」から「達成された」が妥当と考える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートの受講動機、到達度自己評価(1)(2)から内容的妥当性はあると考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>科目の性格上「授業の進め方」については各講師に一任しているのが問題は無いと思われる。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学科特性と受講生の興味という点での講師選択は一定の評価はされていると思われる。今後の課題として、インターンシップとの関連性(インターンシップ先企業への依頼等)があげられるため、同時履修が望ましい等シラバス表記の検討も必要である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	古川 敬康

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学 I	1	前期	必修	はい	62

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 学生の授業評価アンケート(50名)を見ると、受講動機としては「必須科目である」ことが100%であって、他の動機は「関心」と「単位取得」が2%であった。キリスト教に初めて接する状態であったことから、授業は受講準備性のレベルが低いところから始める必要があった。学習動機向上対策として、第1に建学の精神である「感恩奉仕」との関係と目的を最初に明示する。具体的には、総合人間科学の科目として、専門分野の科学の基盤となる重要な「自己理解」と「人間性」に関わる科学であることを説明する。第2に、評価基準を明示する。授業の質評価を見ると、&lt;評価基準は明らかであった&gt;の項目で肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」の順に「11, 9, 32」で91.23%であり、否定的回答と「少しそうでない」「全く」の順に「1, 4」で、8.77%であった。②「学生の質問を受け付け、それに答える機会」としては、授業毎に、受講者が「自分の考え、感想、調べたいこと等」を記入した「自己学習記録」を提出し、次の授業で教員からコメント等を記されて返却され、全体に関わる事柄については授業中に教員から詳しい説明を受けるフィードバックが与え、授業への参加意識を高める工夫の一つとする。③ 総合人間科学の科目であり、専門分野の科目とは異なるが、聖書の古代の状況を現代の状況に翻訳するに当たり、理解力を助けるための具体的なメタファーや可能な場合には看護と関係のある例を用い、キリスト教学の知識や理解を専門職との関係で蓄積できるように工夫する。④ 期末試験では、その準備の過程で、受講者が重要なテーマに関し自分の知識を正確なものとし、理解をより深めることができるように工夫する。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>① 成績を見ると、平均値は79.20点であり、再試対象は3名であった。分布的には、90点以上が19.67%、89～80点が29.51%で、理想的レベル(概ね80点以上)に達した受講者は49.18%であり、79～70点が32.79%、69～60点が13.11%で、標準レベル(概ね60点以上)のそれは45.90%であった。成績で見ると、知識理解はほぼ目標に達した。② 57名の学生の達成自己評価を見ると、&lt;知識&gt;&lt;理解&gt;に関しそれぞれ肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」の順(以下同)に「9, 11, 32」と「9, 10, 31」で91.23%と87.72%で、否定的回答は「少し」「全く」の順(以下同)にそれぞれ「2, 2」と「5, 2」で7.02%と12.28%であった。それに対し、③ 専門分野では、&lt;検討する力&gt;&lt;判断する力&gt;に関しては、肯定的回答はいずれも「8, 5, 31」で77.19%であったのに対し、否定的回答は「7, 5」で22.81%となった。また、&lt;意欲&gt;に関し肯定的回答は「8, 5, 29」で73.68%であり、否定的回答は「7, 7」で24.56%であった。④ &lt;技術&gt;&lt;コミュニケーション、表現力&gt;の習得に関しては、肯定的回答はそれぞれ「8, 4, 30」「8, 3, 28」で73.68%と68.42%であったのに対し、否定的回答は「9, 5」と「11, 6」で24.56%と29.82%であった。⑤ 学生の規範学習に関する達成度の自己評価を見ると、肯定的回答が「8, 4, 33」で78.95%であったのに対して否定的回答は「7, 5」で21.05%であった。⑥ &lt;職業選択の参考&gt;では、肯定的回答は「8, 5, 26」で68.42%であったのに対し、否定的回答は「7, 11」で31.58%であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CPの位置づけから検討すると、総合人間科学の1つの科目として、専門分野の諸領域を超えた学習上、その根本となる総合的視点と人間性を養い広い視野に立つアプローチを可能にすることに意義がある。&lt;自分なりの目標を達成した&gt;には、肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」の順に「10, 6, 33」で85.96%であり、否定的回答は「少し」「全く」の順に「5, 3」で14.04%であった。つまり、85%以上の学生が自己評価出来たということに鑑み、内容的には妥当であったと考える。② DPの位置づけを検討すると、上記の通り学生の達成自己評価を見ると、社会人としての基礎的学力を修得し、ツーリズムとビジネスの領域でもつと広く「知識」&lt;理解&gt;に関する事項では91.23%と87.72%の肯定的回答がなされている。また、&lt;規範習得&gt;について78.95%の肯定的回答がなされている。専門分野における現代社会の実態をとらえ問題解決に必要な「検討する力」&lt;判断する力&gt;、地域・諸外国の問題につき関心と貢献への「意欲」に関する事項、さらに「技術・表現」に関しては、いずれも、肯定的回答が70%台である。DP1とDP4-1の内容的としては授業に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>① 学生からの担当教員へ意見は4件あり、内容について「難しかった」(2)「意味がよくわからない」(1)、それに、「もう少し早く終わらせてほしい」というものであった。授業時間内に終わるが、5時間目で帰る時間との関係での要望が出されたこともあり、検討したいと思います。内容については、今後も、授業を工夫します。② 授業課題以外の取り組みにつき、5人が取組んだ学習内容を挙げ、12人の学生がしなかった理由につき、「時間がなかった」(4)、「必要がなかった」(3)、「授業内容で精一杯だった」(1)、「授業だけで十分だった」(1)、「思いつかなかった」(1)、その他に、「授業がよく分からなかった」と「難しかった」ことを挙げた学生が各1人いた。③ 学習量の評価を見ると、&lt;1回30分以上の予・復習&gt;6回を各5人、4人が実践し、1回以上の予・復習は各32人、71%以上であった。④ 授業の質評価を見ると、&lt;学習の範囲や課題は明らかであった&gt;という項目で、肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」(以下同じ)の順に「14, 6, 32」で91.23%であった。&lt;理解しやすい&gt;という項目での肯定的回答は、「8, 6, 25」で68.42%に留まり、否定的回答の「少し」「全く」が「12, 6」で31.58%あった。&lt;学生の質問への答を得る機会&gt;では肯定的回答は「7, 7, 29」で75.44%に対し、否定的回答は「9, 5」で24.56%あった。&lt;参加の機会&gt;では肯定的回答が「6, 4, 27」と64.91%であり、否定的回答が「10, 9」で33.33%であった。⑤ 1教室の受講生数が100名を超え、日ごろ接しない内容であり、観光文化学科の学生の席が英語学科の学生の後ろになったことで距離があった点も改善したいと思います。今後も知識・理解を得られるような改善に向け、1)レジメの配布、2)予復習の方法の明確な指示、3)毎授業で配布し回収する学生の「自己学習記録」(A4)から判断して、分かりにくい箇所はオープンにして理解の共有化を図る工夫をする。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>① 授業準備として、学習動機向上に建学の精神「感恩奉仕」との関係と目的、評価基準を今後も明確にし、予習・復習の具体的方法を繰り返し喚起することが必要である。② 総合人間科学の科目として、専門分野の諸領域を超え、その根本となる総合的視点と人間性を養う広い視野に立つアプローチを可能にする利点は、専門分野とは異なる学問する喜びをもたらし得る。学生の担当教員への肯定的な意見は、この反映と思われる。しかしこの科目は実学であって、この科目で習得する知識理解を応用乃至適用する学問が、まさに学生が学ぼうとしている専門分野であり、その専門分野での「的確に判断する力」及び「その学びを深めたいと意欲をもつ」ことの基盤となるものである。この科目の知識理解を増すことは、専門分野での判断力及び意欲の基盤を広く強くするものである。③ 以上から、授業準備として、学習動機向上に建学の精神「感恩奉仕」との関係と目的、学習方法を繰り返し喚起する。さらに、授業を進めるに当たっては、今後もレジメ等を改善し、学生から回収する「自己学習記録」から学生の授業の理解度をくみ取り指導を工夫する。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	柳澤 伸一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ジェンダー論	1・2・3・4	前期	選択	はい	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機では、「単位数を確保する」を挙げた者が56.3%、「関心のある内容である」を挙げた者が37.5%であった。関心のある学生も4割近くはいたが、全ての受講者に積極的な受講姿勢を期待できるわけではない状況の中で、新聞記事を始めとして、できる限り最新の情報を使うことで、ジェンダーが現在の女性の生き方に係わる大切な問題であることをつかめるようにした。また、学科の特性に配慮して、アメリカのジェンダー問題も意識的に取り上げた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価では、全ての項目で、平均値が3.0～3.5であった。その中でも、知識の確認・修正・取得、事象を理解する視点・考え方の取得の項目が高めであった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、総合人間科学の科目の一つで、DP1、DP2に係わる位置付けがされている。到達度自己評価が、上記のように、知識を得る、事象を理解する視点を得るの項目で比較的高かったことからすると、一応、内容的妥当性はあったと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業は、毎回、テーマに沿って、レジュメ1枚と関連資料数枚を配布し、基本的に講義形式で進めた。資料の作成に際しては、最新の新聞記事も使って、ジェンダーをめぐる今日の問題が捉えられるようにした。授業の中で使用したキーワードについて整理するレポートを課したことは、理解を整理する上で有意義であった。また、アメリカの「中絶論争」について考えさせるレポートを課したことも、思考を深める上で有意義であった。しかし、予習・復習に関しては、学生任せにしたきらいがあり、30分以上した回数で、0回が多く、4、5回以上は例外的であったので、教員には、課題を具体的に与える姿勢が求められた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>講義を通して、ジェンダー問題に関する基本的な知見を与え、関心を深めるという課題は、一応達成できた。しかし、アクティブラーニングを促す工夫については、なお改善の余地が大きい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	浅田 壽男

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ツーリズム英語	3	前期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>英語の運用力を高めるだけでなく、ツーリズム(観光事業や旅行案内)にも直結して、その分野の知識を養成する目的を持つ科目であるので、主として英国を対象に、英語圏の主要な国の風土・文化・社会・歴史の全般について、それらの概要を学べるように配慮して、準備した。そのために、日本人学生がイギリスに留学をするという設定で、イギリス英語とともにイギリスでの生活を疑似体験させる形のテキストを選んだ。テキストで学ぶだけでなく、自ら調べ、その成果をクラスで発表し、他の人からの意見を聞く、という積極的な取り組みがあつてこそ、自分の知識や見解を持つことができるし、実際に使える力になるという理由で、テキストの進度に影響を与えても、全員、必ず英国に関するテーマを決めて発表してもらい、最終的な成績評価にも加えることにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			やや達成された	やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>個々の受講生間には、熱心に取り組んだ受講生とそうでない受講生の間大きな差が見られたものの、クラス全体から見て、個人発表の際の内容、発表後に提出を求めたレポートの内容、発表時に発表者に対する質疑などの参加度、といった諸評価が、おおかた満足出来る80%前後であったこと。さらに、最終成績を算出する際の基礎となった学期末試験の成績素点が、70～80点を指して作成したが、ほぼこれに近い平均70点前半であったことなどを総合して、「やや達成された」評価とした。なお、テキストを中心に、一般に予習復習(シラバスには毎回40分を当てるように目安も明示している)が、授業を進めていく中で、予習復習の明らかに不足な受講生も目立ったので、あくまでも予習復習を徹底させる一環として、臨時の小テストも一度、実施したが、これはあくまでも復習を励行してもらう手段の一つであったので、採点をして答案も返却し、コメントも加えたが、この小テストの目的は果たしたので、最終成績の評価には、小テストの成績は一切、組み込まなかった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP,CP,カリキュラムMAPにおいて、本科目は、選択科目であるものの、観光文化学科の中核を担う科目の一つであり、DPの位置も、それぞれツーリズムに関する諸側面、また必要不可欠な能力的側面に対応しており、十分に適合した科目であると考えます。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>テキストに従って学習するだけでなく、テーマを決めて、自ら調べ、発表する学習活動は、中でも本科目には必要であると考えてるので、今後も継続することになる。与えられたテーマでは、意欲が湧かない懼れもなきにしもあらずである。そこで、出来るだけテーマの大枠だけを決めて、自ら興味があり、調べる意欲が湧くテーマを自主的に選んで貰うことを念頭に、英国という大枠の中で、言語・文化・社会・経済一般から自由に選んで貰い、その後、他の受講生のテーマとの重複を確認してもらおうべく、テーマ一覧表も配布したが、多くは観光スポットというテーマに偏った。さらに、研究や発表の質から見ると、どこそこには～があるというような、旅行ガイドの目次並にならぬように、出来るだけテーマは小さく絞って調べることなど、具体的な研究方法や参考文献を説明したが、十分役立ててもらえたとは言えない。少なくとも、こういう発表には、図書館の文献利用やネットからの情報(根拠のない不確かな情報、誤った情報も含まれているので、あまりお勧めしないが)は全員に必要であり、利用しなければ個人発表が不可能なはずが、授業アンケートを見ると、図書館かネットの利用した人の数が29名中17名(両者の合計)というのは、アンケートの精度も含めて、不可解であった。なお、この種の科目には、自分で調べて研究発表に臨むという学習活動は不可欠であるが、これを手厚く扱うとテキストの学習が進まないという矛盾が起きることが、今後の課題である。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>上欄にも述べた通り、授業として一番の課題は、受講生側から見れば、講義や演習から学ぶ受け身の学習活動と、自分から調べ探求し、極める積極的学習活動を、いかにバランス良く授業内で実現するか、ということになる。このような授業の理想を追求する一方で、現実には、例えば予習復習を、シラバスに示された目安さえ実践されない、欠席や遅刻の問題、授業に取り組む熱心さの不足、等々の授業以前の問題も残念ながら散見されます。別科目のところでも触れたことですが、周知のように「水飲み場に連れて行っても、実際に水を飲むのは本人次第」という意味の喩え話が、昔から教育の場や教師の役割、学校の目標といった方面で引用されますが、こういった方面にも手を伸ばして、授業を考えていく必要があると、あくまでも個人的には考えています。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ツーリズム中国語	3・4	前期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「関心のある内容である」57%、「単位数を確保する」52%となっております。前年度より、多くの学生が関心のある授業になっていますが、もっと学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③授業中に会話・翻訳と発表を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は86点であり、再試対象は0名であった。全員が理想のレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、意欲関心に関しては82%、技能表現に関しては、82%であり、それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、意欲関心、技術表現、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、4%で、インターネットの利用に関しては、26%となっております。図書館やインターネットの利用については、引き続き指導することを考えている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から意欲関心、技術表現、態度に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「ツーリズム中国語」であるが、中国語の通訳ガイドになることをつなぐ要の位置にあり、学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価(91%)をはじめ、各項目については、評価が良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>中国語の通訳ガイドになることをつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の意欲関心、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	金 銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハンゲル I	1・2・3・4	前期	選択	はい	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は韓国語学習歴がない学生を対象に韓国語の基礎を身につける事を目標としている。ハンゲルの読み方とその正確な発音、文構造の理解、数字の使い方などの基礎を身につけ上級クラスへ進められる知識と身につけられるよう授業を進めてきた。</p> <p>学期始めに実施したアンケートで「k-popが好きだから」「韓国ドラマが好きだから」「韓国人とSNSがしたいから」などの積極的な受講動機もあったが、「友達が取ったから」「他になかったから」などの動機もあり、学習に対する姿勢に差がある事が事前に分かったため、興味を持ち続けるよう韓国の小話やk-popを授業に取り入れた授業にした。</p> <p>また中間試験や小テストの実施で学生の理解を確認しながら授業を進めた。また復習項目と次回講義の予告をする事で自習を促した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績平均は72で理想的レベルに近づけることができた。</p> <p>授業評価における到達度自己評価でも全設問満足度が高いという嬉しい結果となった。</p> <p>中でも「知識を新たに得ることができた」の評価が最も高いことに注目したい。韓国語をこの講義で初めて習う学生が大半だが、その多くが当初期待した目標を達成したことが分かる。他にも「専門分野において学びを深めたいと意欲をもつことができた」で高い満足度が見られるが、これは韓国語学習で応用の幅が広がり、今後の進路に貢献できる授業であったことと言えよう。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ると内容的妥当性試験の結果で見られるように、第二外国語として目標といた成果を挙げられたので内容的に妥当性があると考えられる。</p> <p>DP 授業中学生達から受けた印象はもちろんのこと、到達度自己評価では授業で取り上げる機会が少なかった項目以外は高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。</p> <p>まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>初級の語学という授業の特徴上、学生が意見を述べたり、図書館を利用しリサーチする機会が少ない。代わりに基礎的な会話の場面を増やし講義を聞くだけではなくコミュニケーションを取る機会を作った。 また毎時間、講義の感想を書いてもらう事で学生の授業へのリクエストに応じるように努めた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>第二外国語として学習歴のない学生を対象に、基本となる話す・聞く・書く・読む力をつけることが目標だった。その目標を達成できたことにより次の「ハングルⅡ」に進むに不足しない実力がついたと思われる。そして語学以外に「韓国」そのものに興味を持つ学生が増えて、狙って以上の成果を挙げられた。来年度も引き続き学生と関連のある韓国の話題を取り入れながら良い成果を挙げたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
フランス語 I	1・2・3・4	前期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>志望動機は「関心のある内容である」「単位数を確保する」「友人が履修している」がそれぞれ33%(1名が回答)であり、初回授業の調査で全員がフランス語に初めて触れると回答したことから、未知の語学であるフランス語に対するある程度の興味・関心・期待が伺えた。教科書は新たにコミュニケーション・アプローチを念頭に置いたものを採用し、ペアワークによってフランス語を構造の面から知的に理解することを重視した。昨年度よりも受講者数が減少した分、時間をかけて個別に指導することを心がけた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は77点(±36点)であり、4名中3名が標準的レベルに達し、再試対象は1名だった。学習到達度の自己評価を目標別に見ると、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」「まあまあそうだと思う」と答えた割合は、DP1「知識・理解」、DP3「意欲・関心」、DP5「技能・表現」ともに100%という結果だった。学習量の面では、1回30分程度以上の予習・復習を行ったのは「週に1回」が66%、「2、3回」が33%、「4、5回」が33%で、全員が予習・復習を行っていた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目はカリキュラムマップ上の「総合人間科学」の「国際社会と現代」であり、総合人間科学のCP「知識と教養を培い、総合的・分析的視点で問題を捉える能力を伸ばす科目」という観点に相違なく、学生は一定の成績を収めていることから、内容として妥当であると考えます。</p> <p>②DP、行動目標からみても内容的妥当性 DPの観点では、全般的評価に当たる「自分なりの目標を達成した」の質問に「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは100%であることから、内容として妥当であると考えます。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、どの項目も評価は高かった(平均値は4.3から4.7)。中途からではあったが、教室を変更し毎時間ニュース映像を視聴したり、昨年度に増して会話やコミュニケーションを重視したり、教科書付属のブックレットの練習問題を提出させ、個別に文法的な指導ができたことも評価につながったと推測する。一方で、授業の課題以外に学習に取り組んだと回答した者はいなかった。身近な事柄を表現できるよう、日常的にフランス語を使ってみることが語学力向上のカギだという基本的な考え方をもっと広める必要があると感じた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>昨年度と比較して人数が少ないからこそ、和やかな時間の中で個別に指導することができた。ペアで自由に会話を組み立てて披露する時間は、クラスメートとコミュニケーションを取りながらフランス語を実践的に使おうとする意欲が感じられる有意義なものだった。今後も教員が一方的に「教える」のではなく、学生同士で「学び合う」授業スタイルを徹底させていくことが望ましい。また志望動機の調査で表れた「関心の高さ」を、半期を通して、その先もいかに持続させていくかにも留意したい。そのために、フランス語を「遠い言語」とせず、授業外でもっとフランス語に親しめるよう、魅力的なコンテンツを利用させるなど、教科書だけにとどまらない学習方法を提示していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	松笠 裕之

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ホスピタリティ論	2	前期	必修	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業においては、事前学習よりも講義時間内での完全理解と事後学習にポイントを置いているため、実社会や日常生活での事例を説明することで理解を深めていくというスタイルで進めている。さらに事後学習ではアルバイトや生活の様々な場面で自分自身の状況判断で態度で実践していくことを目標にしている。毎回の授業では、リアクションペーパーを使って授業のポイントとコメント、疑問などを書かせて完結するように工夫している。さらに、期末テストで一夜漬けで覚えることがないように中間テストを実施している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業への出席状況並びに毎回のリアクションペーパーと中間テスト、最終テストの計2回の筆記試験を基に成績評価を行った。結果S評価25%(前年16%)、A評価41%(前年45%)、B評価16%(前年18%)、C評価14%(前年6%)、D評価4%(前年4%)でS評価とA評価で65%で前年60%を5%上回り、学生自身の事後学習並びに授業中における集中の結果であると思われる。また、評価アンケートでは、授業の内容をアルバイトの場で実践したと書かれており、本授業では社会で応用できることまでを目標としていた点においてはホスピタリティを知識として理解し、それを自身で思考判断することで実社会において実践できたことは目標を達成できたと考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CP,カリキュラムマップとの妥当性については、必修科目であることを考慮し、すべてのサービス活動なら日々に生活活動において重要となるホスピタリティを十分に知識として理解し、さらにその場の状況を判断したうえで実践していく内容については妥当と考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業ではすべての回で毎回アクションペーパーを学生に書かせることで学生自身の授業におけるポイントの確認と疑問点を確認できる。次回の授業では、授業のはじめ10分程度必ず復習を行い、アクションペーパーへのコメントと疑問に答えるように工夫している。人数の関係ですべてのコメントを紹介できないのは残念であるが双方向型の授業として成果が出ていると思われる。今後は、文献資料などを図書館で調査するなどの機会を作り学外での学習時間を増やしてさらに深い知識習得に努めていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>この授業における目標である知識獲得と実践の両面が達成できたと思える。アクションペーパーで双方向型の授業を行っているが疑問に答えるのが次回ということで時間差があるため、リアルタイムに疑問に答えていけるような工夫を検討していきたい。また、視覚からも理解を促進させるために視聴覚教材の導入も検討していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マーケティング入門	2	前期	選択	いいえ	55

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>マーケティングは、実際の企業経営の中心課題であることは周知の事実であるが、本学科のカリキュラムには「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置されていない。そのため企業経営におけるマーケティングの役割の理解に重点をおいている。また、マーケティング興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業組織・経営の基礎理論を学習したことのない学生にマーケティングへの興味・理解をさせるために新聞などの経済経営記事に慣れ親しむ事を学習準備として示している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は上記授業準備で述べた通り、体系的なカリキュラム構成による「経営におけるマーケティングの理解」が困難なため、あくまでマーケティングという学問への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容からやや達成されたと思われる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できるが、昨年同様、基本的問題としてマーケティングの基礎知識としての経営学を学んでいないという、カリキュラム体系上の欠陥から、内容妥当性は評価できない。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方については問題ないと考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。ただし、新カリキュラム編成となる2018年度以降については経営学の基礎科目が導入される予定であるので、それ以降に本格的に学習量の向上を図るために来年度は試験的導入を試みたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語で話す日本の心 I	3・4	前期	選択	いいえ	63

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This first term course focused on providing Tourism Department students with an opportunity to improve their ability to explain Japanese culture to tourists and anyone else interested in learning about Japanese culture. We used the textbook "This Is Japan" (Macmillan), which focuses on traditional aspects of Japanese culture through the experiences of an exchange student and a home stay family.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on 4 criteria passive participation 30%, class tasks 23%, class preparation 22%, and a final test 25%). The majority of students received scores in the 70s to 80s.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>The skills being practiced (DP5) were both practical and useful. The average student took advantage of the opportunity to improve their skill set.</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>Goals for the next academic year will include more focused class preparation assignments and quizzes to improve student focus. In addition, more preliminary writing practice using the target language should improve the average student's skill level.</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>I am glad that the two departments each have their own class as this improves the learning opportunities for all.</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	岩井 朝子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語通訳ガイド演習 I	3・4	前期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>特に資格を目指すというわけではないが、関心のある科目ということから、外国人観光客に接した時に、ちょっとした話題となるようなトピックを想定して授業のプログラムを作った。また、日本の歌舞伎や茶道といった伝統的文化だけでなく、学生が身近に感じられるようなポップカルチャーなどの話題も取り入れ、学生に積極的に意見を発信してもらえるような環境を与えるように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			やや達成された	やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は80点で、再試対象は0名で、ほとんどの学生が標準的レベルに達していた。意欲関心においては中央値4.5、技能表現においても中央値で4.0を示していた。学習量に関心しては、3分の2の学生は予習時間・回数が比較的多かったが、残りの学生は0回と回答し、改善させる必要がある。図書館利用に関しては、回答者のほぼ全員が「利用しなかった。」と回答しており、時代の流れから理解できる面もあるが、インターネットなど積極的に利用するよう勧めていきたい。学生による授業評価においては、平均値4.5で概ね説明等を理解してもらったように思う。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、国家試験合格を目標とした科目であったが、今年通訳案内士試験に関する法案が新たに可決され、来年度から国家試験無しで外国人観光客の案内ができるようになるため、科目自体の妥当性が問われることになる。しかし、試験の合格を目標とするのとは別に、外国人観光客と触れ合う機会は確実に増えているので、他国の文化に興味を持って共通語である英語で知識を得ることはこれから必要を増していくと思う。また、学生も意欲を持って授業に取り組み、標準的または理想的成績を実現していることから、内容的には妥当であると思う。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価では、中央値4点だった。これからさらに、学生が発言しやすいような授業の雰囲気を作り、双方向の授業を実現していきたい。また、各授業の終わりに、授業のまとめの時間を設け、学生に学んだことを一行ずつ書いてもらい、一回一回の授業で達成感を味わえるような取り組みをしようと思う。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>プレゼンテーションや発表の機会を多く与えることで、比較的双方向の授業をできたと思う。来年度からは、復習にも重きを置き、授業の内容が定着するように指導していきたい。さらに、来年度からは学生同士で議論できるような授業を工夫したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英文講読 I	2	前期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は選択科目であり、シラバスの内容を参考に受講するというのが基本的な履修スタンスである。今回の受講動機でも、それが反映された形で、関心のある内容である、という項目を選択した受講生が最も多かった。学習意欲の高い学生が集まった少人数クラスで、なおかつ全員毎回きっちり予習をしてきており、全体を通じて非常に密度の濃い授業を展開することができた。通常は毎回学生に事前に割り当てた担当範囲を発表してもらい、その内容に対してコメントおよび補足と訳を行うスタイルを実施していたが、今回は受講生の自主的かつ積極的な学習姿勢や意欲によって、授業というよりは演習(ゼミ)に近い形式で授業を実施できた。現代日本を取り巻くさまざまな問題や事象を英文で理解するという趣旨に基づいたテキストを使用し、その背景や内容についてのディスカッションなども毎回の授業で行うことができた。教科書で取り上げたテーマも、学生が興味・関心を持ちやすいような内容・構成になっていた点も、授業満足度に奏功したと考えている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>内容に関心をもって受講したことが、テストの数値にも反映された結果となった。具体的には、サブテキストである日本文化の事象についての英文ディクテーションを当該期間中9回実施した。合計を30点満点に換算した結果、全体の平均点が22.1点であった。重要かつ難解な単語が頻出する英文ではあったが、正答率が70%を超えた点からも、教育目標は達成されたと考えている。定期試験は小テストに比べると、平均点が50点満点換算30.4で、小テストに比べるとスコアが下がったが、授業貢献度による平常点が全体の底上げにつながり、結果的に最終評価の得点上乗せに貢献した面もあると考えている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は選択科目であり、なおかつ現代日本のさまざまな社会問題や事象を英文で理解していくという目的の授業であった。受講生の到達度自己評価においても、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、(3)事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた、等の項目に対して全員が「そうだと思う」を選択しており、CP、カリキュラムマップ上の位置づけ、およびDP、行動目標の点から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、すべての項目に対して「そうだと思う」という肯定的な項目を受講者全員が回答していた点は、担当者として非常に満足している。この点は前述のように、受講した学生の学習意欲・態度・姿勢が非常に優れていた点が大きかったと分析している。とはいえ、受講生の構成は毎年、每期変化するので、そうしたことに柔軟かつ瞬時に対応できる策を事前に講じておくことの必要性も今後の検討課題として認識しておきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>最終評価は基準点を大幅に上回る結果だった。これは、サブテキストから出題した小テストおよび発表等による授業貢献度(平常点)による上乘せが奏功した結果である。これからも、受講生のニーズや習熟度に十分配慮しながら、テキストのみに依存することなく、内容によってはハンドアウト(補足・参考資料)等を準備して配付するという形式なども実施を検討していきたい。また、日本の歴史を英文で学ぶという授業スタイルは、観光文化学科の主旨からも重要な部分であるので、英語とは分離独立した形で、日本史、世界史のような科目を一般教養的な位置づけとしてカリキュラム・プログラムに組み込み、歴史と英語とが相乗効果を生むような科目編成も、学科のこれからのあり方としてひとつの有効な手段ではないかと考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英文講読 I	2	前期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①英語のreading授業であり、一年次のreading科目との体系的なつながりの上で、深く読むことができる力を養うことができるようにしている。学生の学習準備性については、選択科目であり、受講動機は「関心のある内容である」が77.8%であり、内発的な動機が高いことが確認できる。②毎回小テストをしたが、一回目に15回の小テスト予定を配布した。これで学生側は明確な目的を持つことができた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①10名の受講生で、最終成績は、Aが50%、Bが20%、Dが20%、Jが10%である。②小テストは、同じところを一定の期間をおいて、繰り返した。その二回目以降の方がより正解率が高まっていった。学生の到達度自己評価は、(8)コミュニケーション力や表現力が、3.6であった。知識理解はこの科目のDPではないが、(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が4.0であり、本来のねらいのDPとのミスマッチが見られる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容的妥当性 受講動機は、③関心のある内容であるから、④単位数を確保する。⑤GPAをあげる。⑥友達が履修しているまで、4項目にわたっている。必修科目でない語学科目であり、意欲が高い学生が履修していると考えられる。英語の必修科目がない、2年次以上の学生には、様々な分野に関する資料を読む英語の科目として、カリキュラム上必要な科目設定だと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本年度は受講者を増やすために、受講生にふさわしい教材を選択して、インターネットのEラーニング教材を利用することにした。②学習量の評価は次のようになる。「授業に参加するために、1回30分以上の準備をどのくらい行いましたか」に対して、6回と答えたのが、9名の回答者中の5名。また、「授業を振り返るために、1回30分以上の復讐をどのくらい行いましたか」に対して、6回と答えたのが、3名となっている。意欲的な取り組みがあったと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>①英語については、二年次は必修科目はなくなる。その中で選択科目を選んでもくれる学生の意欲、関心を伸ばすためにも、学生の受講動機に見合う授業を展開できたと思う。その根拠は、授業評価アンケートの授業の質評価である。すべてが3.7以上であり、学生の努力と授業がかみ合ったものと考えられる。Eラーニングはこの科目では初めての試みであり、今年四月から従来はできなかったスマホでの学習も可能になった。その結果は、図書館利用の(3)この授業では、インターネットのホームページを検索し、利用したが、7名となっている。少しの空き時間でも利用できる利点を利用している学生がいるのではないだろうか。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
欧米観光文化地理 I	2・3・4	前期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目では欧米の中において特に西欧の観光文化地理について授業を行なった。西欧(あるいはさらにその各国、各都市の)観光文化、社会、地理などの形成と特徴について詳細に論じた。西欧は学生達に渡航先として人気のパリやローマ、ロンドン、ウィーンなどを含んでおり、興味を持って受講してもらうことができた。成績についても単に期末試験のみによるものとはせず、1か月に1度、A4用紙2、3枚程度のレポートを課し、これらから総合的に採点した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>多くの受講生は真剣に受講してくれたため、単位修得率は73%(22名中16名修得)、追試で2名修得し、それを含めると82%となり、前年度の比率を上回った。単位を修得できなかった者はレポートや定期試験の内容の不備もあるが、概して欠席や遅刻が目立った。しっかりと出席していた学生はきちんと単位を修得できていることが認められた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>上記4でも触れたが、欠席や遅刻に主たる起因があり、結果的に18%の受講生に単位を認定することができなかった。そうした中、しっかりと受講している者に対し、「後ろの数列は座ってもらわないようにする(なるべく前に座ってもらう)」、「1か月に1度、レポートを課す」、「図表や写真などを多く使用し、視覚的にもわかりやすい講義を心掛ける」といった工夫をした。今後はこういった点を活かし、さらなる努力をしたい。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>すでに上記5でも触れたが、担当者としては様々な工夫を凝らした。そういった中であっても、どうしてもやる気の出ない、倦怠感が見られるような受講生も多少はおり、単位を認定することができないということにも繋がった。可能な限り、声掛けをするなどして、目が行き届くように心がけたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>全体としては充実した講義になったのではないかと認識している。受講者の中にはしっかりとノートをとるなどして、レポートや期末試験で好成績を収めた者も多い。一方、欠席が多くみられたり、出席しても明らかにやる気の見られないような者もいた。伸びる受講生はさらに伸ばし、やる気のない受講生は少しでもやる気を出してもらおうよう、工夫していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
海外旅行実務	2	前期	選択	いいえ	63

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の多くは国家試験を受けないが、2割程度の受講生は国家試験を受けるという事情の中で、国家試験対策の部分をどこまで本格的に取り入れるかについて、なるべく多くの学生が授業で満足できるように、学生の反応を見ながら適時、検討しながら授業を進めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	自由記述に記載したほほすべての学生が授業について肯定的な評価を示していた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>観光系の中でも国家資格関連の科目であり、本学科の中心的な科目であり、それを意識した内容の授業である。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>旅行実務をそのままに表現している映画を見せながら解説したことがあったが、それを理解できていない学生もいるようであった。どのような学生も理解できるように丁寧な説明をする必要性を感じた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>授業の目標は達成できたが、国家資格を受験する者としいない者とが混在するこの授業では、バランスに注意しながら進めていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	金 銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光ハングル	2・3・4	前期	選択	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「ハングル1、2」の上級クラスとして旅行会社などでのインバウンド・アウトバウンド業務をこなせる語学力を身につけることを目標にしている。しかし毎年のことではあるが今年も学生たちはシラバスを熟知しておらず、韓国語学習歴がない学生がいることが開講後に判明した。開講後実施したアンケートで(学校で実施する授業評価ではなく、別個に実施)「もっと韓国語を話したい」や「韓国旅行の際便利そう」など積極的な意見が多く学習意欲が見えたため、様々な工夫で学習歴のない学生もついてこれるよう授業を進めた。</p> <p>「ハングル1、2」を受講した学生と全くの初心者が混在するクラスだったためテキストとは別の教材を用意し、文型を用いるスピーキングとヒアリングに重点を置いて授業を進めた。また毎時間テストを行い、反復練習に力を入れた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>定期試験ではインバウンド業務を想定した面接試験と筆記試験を行った。全員がヒアリング力が付いており、韓国語で適切に答えることができたため平均82点の成績を収めることができた。</p> <p>授業評価における到達度自己評価でも全設問満足度が高いという嬉しい結果となった。中でも「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と「コミュニケーション力や表現力を高める事ができた」の設問に特に高い満足度が見られ、講義が重点を置いている点と学生の満足とが一致する結果が得られた。また「専門分野においてさまざまな課題を検討する力を得ることができた」や「専門分野において的確に判断する力を得ることができた」でも高い満足度が見られたことから、今後の進路に役立てたいという本来の目標を達成することが分かる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 試験の結果で見られるように想定していた成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。</p> <p>DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価では授業で取り上げる機会が少なかった項目以外は高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。</p> <p>まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>ここ数年シラバスを読まずに履修登録をする学生がいる。本校で開設している「ハンゲルⅠ」と「ハンゲルⅡ」を受講した学生と全くの初心者とは講義に大変な工夫を要する。そのことも想定して授業計画を立てているが、語学力の差がある学生全員に納得いく授業を行うのは容易ではない。 もっとフレキシブルな授業ができるように工夫をしたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>インバウンド・アウトバウンド業務をこなすという具体的な場面を想定した語学クラスで話す・聞く力をつけることが目標だった。その目標を達成できたことによりすぐにも仕事で使える実力がついたと思われる。来年度も引き続きよい結果を出せるようがんばりたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光フランス語	3・4	前期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>志望動機によれば最も多かったものが「単位数を確保する」で64.3%、次いで「関心のある内容である」57.1%、「友人が履修している」14.3%だった。全受講者の中で1・2年次に「フランス語I」や「フランス語II」を履修していたか、あるいは現在履修している人は22%であり、継続してフランス語を学びたい学生が一定数いることが分かった。昨年度と比べると受講者数が減少、少人数のクラスとなったぶん、個別対応が容易にできるようになった。就職活動による欠席者が多いことが予想されたため、前回の授業内容の復習を始めに行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は76.9点(±56点)であり、再試対象者2名以外が標準的レベルに達し、理想的レベルの80点以上に達したのは55%(A評価)であった。学習到達度の自己評価を目標別に見ると、「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは、DP1「知識・理解」、DP2「思考・判断」、DP3「関心・意欲」、DP5「技能・表現」のいずれも100%という結果だった。本科目の該当DPは5「技能・表現」のみだが、その他のDPでも高い自己評価となった。学習量の面では、1回30分程度以上の予習・復習を週に1回以上行ったのは46%であった。就職活動やゼミなどに時間を割かねばならない生活の中でも、約半数が学習時間を取っていたことが伺える。授業中の感想としては「分かりやすかった」「フランス語を楽しく学ぶことができた」「話し方が丁寧だった」「実際に使えるフレーズばかりでとても良かった」等の声があった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみて、本科目はカリキュラムマップ上の「専門教育科目」の中の「専門基幹科目」であり、「専門基幹科目」の目標「観光文化学科における教育の骨格となる分野の基本をより具体的に理解するとともに、専門展開科目を履修するにあたっての基本的領域について理解する」に相違なく、学生は一定の成績を収めていることから、内容として妥当であると考え。②DP, 行動目標からみた内容的妥当性について、全般的評価に当たる「自分なりの目標を達成した」の質問に「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは93%であることから、内容として妥当であると考え。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、中央値をやや下回るものが多かったが、おおむねどの項目も一定の評価が得られた(平均値は3.4から4.3)。毎回、具体的な目標を提示しそれに向かって授業を進めていくことで、目標達成もしやすかったものとする。「観光フランス語」という本学独自の専門的な科目においては、半期では取まらない広汎なテーマが考えられ、一般的な指標のようなものも存在しないため、何を学ぶべきか見極めることと、その教材を工夫することが欠かせない。知識の定着をはかるため、定期的にまとめの練習問題を解いたり、WEBの学習サイトを利用したりした。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>「専門基幹科目」の意義にふさわしいと思われる授業内容であった結果、高い自己評価が得られ、ほぼ全員が一定の成績を残すことができた。選択科目では学習時間があまり取れない中、学習意欲が低下したり、ただ単位を取得するためだけに教室にいるのはもったいない。DP5「技能・表現」をレベルアップさせるには「授業の進め方とその向上について」で述べたように、テーマ設定のさらなる検討と、「観光」の面でより実際の役に立つフランス語を身につけられるカリキュラムづくりが必要である。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光学入門	1	前期	必修	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「必修科目である」87.5%、「関心のある内容である」17.9%、「単位数を確保する」7.1%、「資格取得に必要である」1.8%となっております。学生の関心を引き出し、多くの学生が勉強したいかもくなるように、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト(レポート提出)を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。目標別に見ると、知識理解に関しては95%、思考判断に関しては98%、意欲関心に関する問題は95%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれ、2%、12%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「観光学入門」であるが、「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が85.7%となっております。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある「観光学入門」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光関連法規	1	前期	選択	いいえ	56

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験対策であるため、その合格を目的とした。しかし、1年次配当であるため難解な法律用語になじめず、とても合格を目指すレベルの基礎学力がない学生も多い。また、例えば看護師資格などことなり、目指す職業にはかならずしも必須資格ではなく、履修途中でその難解さに、合格を諦める学生も少なくない。そのため、シラバスで示した「達成目安」を「標準レベル」に置き、単位を取得できるレベルに落とさざるを得ない状況も出てくる。一方では、本気で合格を目指す学生もあり、「達成目安」の「理想レベル」の授業も求められている。そのため、通常授業では「標準レベル」の内容とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験を目指す授業であることから、ほぼ隔週で小テストを実施した。その平均点で成績評価をする(60点で単位認定)こととした。結果は、出席数を満たした学生は全員単位取得できた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験対策授業であることから、DP1「知識・理解」をその評価基準とすることで問題ない。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>国家試験対策テキストを使用、ほぼ隔週で小テストを繰り返したため、学生アンケートによれば、予習、復習に割いた時間は他の授業より多い。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>国家試験対策授業ではあるが、そのめざす資格の職業的重要性や評価があいまいであり、学生のモチベーション持続からは難しい側面がある。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>大学初年次教育として必要な基礎学力の養成に重点をおいた。また、学科共通テキストを使用したため進捗にも気を遣った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	アンケートから学習到達度の自己評価では目的を達成しているが、学習量の評価項目レベルが低いため上記状況とした。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度自己評価については高い達成度を示しているためDPとの内容的妥当性は評価できると思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習量レベルが低い場合、課題提出等の工夫が必要である。</p>
---	------------------------------------

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>大学生として必要な基礎学力を達成することが行動目標であるが、この科目だけで達成されたとは言い難い。後期科目である「基礎演習B」と体系的な構成、授業進行が検討課題と思われる。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①基礎演習Aは高等学校教育から大学教育への円滑な移行を図るための基礎教育として位置づけ、まず大学での学習方法を理解してもらい、大学での学習には不可欠な要素である「文献を探す」「読む」「書く」「話す」のアカデミックスキルの基礎を修得することを目指す。</p> <p>②昨年度までと同様、授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。学習者の関心事を新たに加えた。</p> <p>③8コマ目まで「知へのステップ」教材に沿って授業を進めてきた。9コマ目から「女性の本格」という本を中心に学習してきた。学生を主体として司会、発表、自主性を引き付けるようにしてきている。最後に教員が講評する。</p> <p>④学生全員に毎回レジュメ感想文を書かせたり、発表させたりして学習意識及び方法を高めるようにしてきた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は83点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として、総合的に作成)に達したものは3人と限られた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性、本科目は基礎演習科目である。専門演習科目、卒業研究をつなぐ要の位置にあり、必修である。内容的に妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.7と高かったが、「説明は理解しやすいものであった」の平均は4.1と低かったことが想定より低かったことも反省点である。次年度に向けては、説明方法を検討するべきである。なお、図書館利用においては、「この授業では図書館の図書、雑誌を利用した」の項目は基本的に利用しなかった。今後できる限り図書館の利用習慣をつけていくように促していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>基礎演習Aは、基礎的知識の形成、学習の方法については、概ね達成できたが、2年までアドバイザーとして常に連絡し、指導を引く続けていく必要がある。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1年次必修科目であり、初年次の導入教育を扱う重要な科目であるとして臨んだ。大切にしていることは、高校と異なる大学での学び、とくに論文を作成する取り組み姿勢を理解させること、調べたり本を読む習慣をつけさせること、自分の主張を論理と論拠をもって述べる楽しさを味わってもらうこと、などである。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
<p>・「全体」について、「自分なりの目標を達成した」の平均4.0であり(昨年度2016年度前期4.0と同一水準)であり、上記の通りと思う。「知識理解」については、4.0であり(2016年度 4.0と同一)、上記の通りとした。但し、学科統一テキストに沿って、レポート・論文の書き方を学んだが、論文の初めに追求すべき「問い」をしっかりと立てていないこと、資料の出所表示をきちんと書くなどルールが十分に身に付いていない部分が散見されたので指導を強化したい。「思考判断」については、「課題を検討する力を得ることができた」4.1、「的確に判断する力を得ることができた」4.1であること、また、論文が一応筋道立って書かれていたので、上記の通り考える。「技術表現」については、パワーポイントを使ったプレゼンの経験などを通して、「必要となる技術を身につけることができた」4.0となっており、上記の通りと考える。</p> <p>・図書館利用については、8人中4人が図書・雑誌を利用した、3人がCiNiiなど学術データベースを、6人がインターネットのHPを利用したとあり、まずまずの取り組み姿勢だと思う。図書館への訪問、視察などが有効だったと思う。</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学科統一のテキストを使い、大学での学び、論文や口頭プレゼンの仕方などを演習を通して学び、導入教育として内容的に妥当であった。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>・「説明は理解しやすいものであった」が4.0(前年度2016年度と同一水準)であり、まずまずであった。しかし、改善の余地はまだあり、引き続き理解度に沿った丁寧な説明、学生の動機づけを心掛けたい。 ・なお、学科の学年全体で実施したディベート大会への取り組み姿勢はかなり注力して前向きであり、結果として準優勝を得た。動機づけは、うまく行った部分があったと思う。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>・今年度のプレゼミ生の取り組み姿勢は前向きであり、よかったと言えよう。お互いのコミュニケーションもよく取れていた。また、ゼミ対抗のディベートに参加して、あのチームはこういうところがよかったなど気付きを得たり、議論していたので、学ぶことが多かったようである。やる気をなくす学生も出ず、まずまずであったと思う。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>入学したばかりであり、授業以外のことでも悩みや疑問も出てくる可能性が高いため、毎回、アドバイザーとしてそのようなことに注意を払った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	全員が「優」以上であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学科共通の科目であり、内容は妥当である。</p>
--	-----------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>自由記述によると、授業の課題以外に取り組んでいない学生が多いようである。自ら、課題以外に取り組む気になるよう授業時に知的刺激を与える工夫をしたい。ただし、次年度は開講されない。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>授業外の課題に取り組んでいない学生がいるようであり、検討の必要がある。しかしながら、次年度はこの科目は開講されない。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>必須科目で、学科の統一テキストを使用した。しかし、それだけでは、「演習」の目的が達成できないので、授業の1回分(90分)の半分をテキストによる講義、後半をそれらを活用した演習に当てた。たとえば、テキスト「情報検索」の項では、実際に図書館の協力を得て、ライブラリツアーをし、予めテーマを決めさせて、それに合致する文献を検索して借り出す課題を与えた。また、「書く」の項では、その文献から要約と問題提起レポートを書かせ、さらに「発表する」の項目では、そのレポートによる発表を課した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された		やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の授業アンケートによる。到達度、情報利用などの項において読み取れる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>初年次基礎演習のいわゆる、読む、書く、発表するなどの初歩的な学習能力養成の観点からほぼ妥当と思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「読む、書く、発表する」までは一定の効果を得たが、「議論する」がほとんどできない。指名しても答えられない。そこで、一つの発表に対して、質問や感想などの発表をした学生にその回数を記録し、議論の後に回数を公表する手法を取ったところ、やっと発言するものが出た。要するに、主体的な発言ではなく、追い込まれての発言と言える。学生が選ぶテーマも社会性があるものから選ばせたが、比較的難しいテーマを選ぶものが多く、それに対する議論ができない。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>「読む、書く、発表する」の基礎能力は一定程度身につけられたとして、「議論する」ができない。それが、2、3年生になっても、他大学学生に比べて劣位にあることに気づかない。なぜなら周囲がそうだから。早く、他大学学生と交流するなどして、キャンパス内にとどまらない刺激を得る方が、手段としてはいいのかもしれない。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目ではほか7つのクラスと共通の教科書が指定されていたが、それだけでは内容的に不十分であったので、まず大学人として「常識を疑う」というところから始め、発想力の涵養、レポート執筆に役立つよう参考文献の調べ方など大学で学ぶにあたって必要なことについて追加して授業を行なった。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	どちらともいえない	どちらともいえない		やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	受講生は授業に際し全員最低限のことは取り組んでくれたが、欠席もそれなりに散見され、何より私語や授業を妨害する発言を行なう者がいたため、全体として弛緩した雰囲気も漂っていたのが残念であった。一応は全員に単位を付与することができたが、成績としては「秀」はおらず、全員「優」～「可」である。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。  <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	すでに上記の3で示したように、今後の大学での学びに必要なスキルや考え方について最低限は身につけてもらった。受講者は全員1年生ということもあり、当初はフレッシュな雰囲気も見られなくなかったが、次第に崩れていった。学ぶ意欲の高くない者に対し、どのように接すればよいか考えさせられるクラスであった。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>クラス共通の教科書が内容や構成といった点でいまひとつ物足りなく、また、古いものであるため、使いにくさもあった。この点は次年度以降も継続した課題となる と考える。「授業の質」については高評価だった前年度同様であったが、昨年度は英語試験によるクラス分けで上位層を集めたクラスであり、今年度はそうではな かったため、受講生も理解が難しい面、継続して集中できない面も見られた。受講者の学習量についても必要最低限だと考えるため、次年度に向けてこうした学生 への対応を考えていかなければならないと認識している。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>授業を骨抜きにするような態度の受講生がいたことで、全体として雰囲気あまりよくなかった。こうした者へのケアは難しいがなんとか工夫して次年度以降、より よくなっていきたい。しかしながら、中には真摯さの見られる受講生もあり、そうした受講生には今後の大学での学びに際し、本講義で学んだことを活かしながら取り組 んでくれたらと考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「必修科目である」100%となっており、履修者が「基礎演習A」では、何を学ぶかについて、よく理解できていることが分かる。履修者のニーズに合わせて、良い教育をすることができるように工夫したい。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された		やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は90.2点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解と思考判断に関しては、それぞれ86%、技術表現に関しては71%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、技術表現の観点での自己評価に差がないことが示された。</p> <p>図書館、インターネットの利用に関しては、16%となっているため、図書館やインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、技術表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「基礎演習A」であるが、「専門演習科目」と「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「説明は理解しやすいものであった」に関しては、83%、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」に関しては、100%であり、評価は良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>「専門演習科目」と「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①入学最初の大学での演習・研究科目であり、少人数(8名)で開講されている。高校から来たばかりの学生には、中身が見えにくい科目名であるが、最初のオリエンテーションでシラバスを配布して、丁寧に説明をすることで不安感を取り除くことができるようにしている。②この科目を設置した目的の一つは、専任教員が少人数を担当することで、学生相互の、そして学生と教員が話せる人間関係をもつ学習集団作りをすることだった。また、その利点を生かして、入学直後の休学・退学を減らすことであった。その点では成功していると言える。アンケート回答者(7名)は受講動機については、「①必修科目である」が100%であるが、入学時の演習研究科目としては、問題はないと考える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①成績の原簿となる素点段階では、8名の受講者中の、Aが7名、Bが1名だった。学生の到達度自己評価では、「試験」がないので、日頃の提出物、授業への取り組みを基準に行なった。②学生による授業評価においては、「知識理解」の観点では、二項目で平均3.8、「思考判断」の観点では3.6であり、「技能表現」(DP5)は、二項目で3.6と3.9であった。自由記述では、学習量(4)「授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由」として、「課題だけで精一杯だった」とある。演習研究科目であり、その第一歩として、図書館利用も促し、実際に図書館に連れて行き、学術データベース、インターネットのホームページの検索、利用をさせた。それについては、5名が「利用した」としている。新聞の読者の声の投稿欄に一度投稿させることをした。4名が採用された。5割の採用率であり、内容のあることをきちんと表現できる力を身につけたことを示している。授業にきちんと出席することが、学力に結びつくことにつながり、授業の課題への取り組みで力がつくことを示している。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は「専門科目」で初めて新入生が学ぶ必修の演習・研究科目である。知識注入型の授業ではなく、学生の積極的な取り組みが求められる授業であり、そのよ② DP、行動目標から見ての内容的妥当性 技能は到達度自己評価で(7)「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」は3.6であり、表現力(8)「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は3.9であり、十分であると思われるので、内容的には妥当であると思われる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質評価では、「説明は理解しやすいものであった」が、全項目で最も低い4.0であった。少人数であり、学生の顔が見えることの利点を今後も生かしていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>演習研究科目との最初の出会いであり、演習研究の授業が面白い、興味深いと思わせるような仕組みを盛り込んでいる。15回の授業の後半の方の、12、14回目に学科行事としてのディベート大会を開いている。5月の新入生キャンプを経て、学習集団が出来上がりつつある時期でもある。そのような時期に、授業の一部と空き時間を使い、ディベート準備のグループワークを始めさせた。それぞれが自分の持ち味を発揮して、グループ内に居場所を見出すような準備をさせた。学生たちは、「面倒くさいことはしたくない」と当初はかなりの不満を言っていた者もいたが、あえてその「面倒くさい」グループワークをさせることで、集団作りをしていった。学生も最終的には、優勝という結果を得たことで、達成感を得た。ただし、勝ち残れば残るほど準備が大変となり、その他の授業との両立をするのが難しい時期を学生は迎えた。この点は、昨年度の反省から、二つの日の間に更に一週間空けることで、いくぶんは緩和された。ディベートでは内容のある材料を、公の場で堂々と自信を持って説得的に話ができるようにするトレーニングも行った。学生は極めて優秀であり、学習内容をきちんと理解して、発表できるところに自主的に持っていく取り組みをした。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
健康科学	1・2・3・4	前期	選択	はい	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>健康、運動、栄養、生活習慣、人体生理学、運動生理学、運動関連代謝系の内容の把握させることに重点を置いた。受講の動機は「関心があって受講した」と答えた者が30%(昨年42%)で、その他は「単位数の確保」と答えた者が70%(昨年56%)、7割の学生は興味が充分でないにも関わらず受講していた。文系学科において健康等に関心のある学生が増えたことは望ましい。</p> <p>健康に情報は近年メディアを通して日常的にかつ断片的に触れている。トピックス、ダイエット、体作りを取り上げながら、自己を含め人の健康管理をする上で必要な知識を理解できるように授業計画を構成した。</p> <p>授業計画では小テストを単元毎に設け、予習復習範囲を明示し、教科書の内容を繰り返し読み込ませるよう促した。小テストは1週間以内に採点結果を各学生に示した。学生は小テストに出る問題を推測しながら予習をして授業に参加するようになり、授業で内容を理解しようという姿勢が見えるようになり、小テストのための復習をすることが当たり前のこととして定着していったように感じられた。それは1度目の小テストが終了した頃からクラス全体に予習復習が態度として表れたと感じられた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は72点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは8名と、問題の難易度から言って高いとは言えなかった。</p> <p>「目標達成できた」と答えた学生総数は26人(30人中)という高値となり、学生の達成感と満足感が良いと考える。目標別に見ると、「知識が獲得できたと思う」は25人、「事象理解の視点を得た」と思う者は24名、「課題検討力」を得た者24名、「判断力を得た」22名、「学習意欲が得られた」22名、「必要技能を得た」24名、「表現力の向上」18名、「倫理規範獲得」21名、「職業選択の参考」20名とその程度はまあまあという学生が多いが、自己評価ではまんべんなく達成感を持たすことができた。観光文化学科の学生に取り、新鮮な知識として受け取られていると考える。今後、関心と成果のギャップを埋めるよう、授業目標の達成度の程度を高めるような方法を取り入れたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「総合人間科学科目」であるが、自己の健康管理及び学生生活においても必須の基本的知識である。また、生活信念、健康志向、美容的自己管理においても大きく関わりのある科目内容である。学生が一定の成績を収めていたことから、内容的には文系の学生にも妥当な内容であったと考える。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から、方法的妥当性は十分あったと思われる。</p> <p>③受講動機で内容に関心がある学生が30%で、単位獲得目的の学生が70%である。「受講動機」が曖昧な学生が多かったが、「学習到達度の自己評価」は87%が達成できたと考えており、観光文化科の学生に妥当な内容であったと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、予習を全くしなかった者が12名(30名中)、復習をしなかった者が11名と予想より多かった。 シラバスを参考にしなかった者が9名(30名中)、授業計画を立てなかった者24名、図書館、データベース、インターネットの無利用者は29名と、予習・復習の時間が想定より少なかったことは反省点である。次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、小テストの出題要点を事前に提示し、その内容を検討して授業に参加するよう促したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>健康管理、健康づくりの基礎的知識の形成は概ね達成できた。授業過程を振り返ってみたとき、じっくり検討を加える時間がなかったため、予習課題の提示などで改善を図りたい。以上から、毎回のねらいを具体的に示すこと、可能な限り単元毎のまとめの時間をとるか、復習課題を意識的に提示するようにすることをくわえていきたい。配布物に対する学生の意見を取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
健康科学実習 I	1・2・3・4	前期	選択	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講者は、学期の始講と最終講に、体力測定および体組成(体脂肪量等)の測定を行ない、運動量と身体組成や健康度との関係、運動効果の把握が体感できるように努めた。②3回の講義時間を用いて、「筋力トレーニングの方法、トレーニング機器の使い方」、「心拍数を基準とした持久性トレーニングの方法」、「ストレッチ体操の実践、ウォーミングアップとクーリングダウン」について講習を行い、授業外に、また将来にわたり自ら運動処方できるよう誘導した。③各受講者は、学期始めに標的運動量を算定し、毎授業時にカロリーカウンターを装着させ、自己の運動量を把握させ、運動意欲を喚起した。④1および3について毎時間記録と評価を行い、期末でそれらをまとめて実習期間全体の自己評価を行わせ、健康度と運動量、体組成の変容と運動量、身体運動能力の開発の程度と運動量との関係が理解できるように努めた。⑤健康科学実習 I では、入学直後であることも考慮し、集団スポーツ種目を実施した。チームミーティングを試合前後に行わせ、所属チームの勝利のための戦略立案と実行、チームの中の個人の行動のポジティブなあり方、組織の中の個人の役割を意識した行動の実行を促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な成績の平均値は79点であり、受講放棄者は3名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは4名(8名中)と予想以上に多かった。受講動機は「資格取得に必要」の学生が0%(7名中)、「単位数確保」は42.9%であった。しかし「関心がある」学生は57.1%と過半数であった。目標達成できたと答えた総数は7人(7人中)で100%の高値を示した。目標別に見ると、「知識が獲得できたと思う」は7人、「事象理解の視点を得た」と思う者は7名、「課題検討力」を得た者7名、「判断力を得た」7名、「学習意欲が得られた」7名、「必要技能を得た」7名、「表現力の向上」7名、「倫理規範獲得」7名、「職業選択の参考」7名といずれも高い自己評価を持たすことができたと考えられる。欠席する者は多くなく全員が積極的に受講していた。今後、関心度に関わる数字を高めるような方法を考えたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。目やその歴史なども説明して、もっと深みを増していくことも次年度にむけて検討したい。学生による授業評価では、知識理解の観点、思考判断の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは、学生が思考判断で何が問われているかを自覚していなかった可能性が考えられる。次年度に向けて、ルーブリックで示すだけでなく、各授業のはじめに示す「ねらい」の表現を工夫するようにしたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「総合人間科目」であるが、必須科目に位置付けられ、初年度教育における友達づくりやストレス解放、健康づくりに最適である。また、運動の原理原則を実体験し確認する場として有用である。学生は積極的であり一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP, 行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成度が比較的高く、カロリーカウンター装着による目標運動量の達成意欲、試合数と勝利数の記載、体力体型の縦断測定比較考察は方法的に成功しており、妥当性は高い。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、予習を全くしなかった者が7名(7名中)、復習をしなかった者が7名と予想より多かった。 シラバスを参考にしなかった者が4名(7名中)、授業計画を立てなかった者5名、図書館、データベース、インターネットの無利用者は6名と、予習・復習の時間が想定より少なかったことは反省点である。次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、小テストの出題要点を事前に提示し、その内容を検討して授業に参加するよう促したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
現代と教育	1・2・3・4	前期	選択	はい	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機の63.3%が単位数の確保であり、これは同じ授業を受講する英語学科よりも17ポイント少ない。内容に興味を持つ者は43.3%で、英語学科より18ポイント多い。教養科目であるため特定の資格取得に向けた知識技術の習得を目的としていないので、いかに興味を持ってもらうかが授業準備段階のねらいであった。そのために、導入部分に学生の体験を結びつける現代的な遊びの特徴を設置した。男の子の遊び、女の子の遊びを比較しながらその特徴をとらえ、共通点と相違点から見える現代の遊びの様相を大まかに理解させる教材を工夫した。今期は「妖怪ウォッチ」のような大ヒットした遊びがないため、ポスト妖怪ウォッチについて新しいテクノロジーとの関連から紹介し、学生の遊び体験とどのような点が変化してきたかに興味を持たせ、その後の過去に遡った遊び文化の歴史的展開への土台作りを心がけた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	どちらともいえない				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>平均点は68.3点(昨年度60点)、合格率は69%(昨年度は39%)であった。基本的に知識理解が達成目標となっているが、平均点が70点程度を期待していたが、同程度の結果となった。合格者のうち、秀に相当する者は5名(昨年度2名)であり、優は5名(昨年度4名)であった。今年度の特徴は以下の通りである。 (1)平均点も合格点も上昇した。(2)秀・優の学生が増加した。(3)31%が不合格である。以上より、成績が二極化していると考えられる。そのため、授業全体としての達成度を示すのは難しく、上位の学生と下位の学生の平均を取った形となった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機の側面からいえば、単位のために受講しているだけでなく、ある程度は内容に興味を持っている。学科の位置づけからすると、社会/文化/歴史に触れることは不可欠である。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度はよい成績を取れた学生とそうでない学生に二分されていた。英語学科が全体としてまとまった成績であったのと同対照的である。英語学科と比べて受講動機で興味関心の割合が高かったことを考えると、受講動機と授業達成を一概に結びつけることはできないかもしれない。 ただし、本年度は昨年度の観光文化と比べると優秀層が増加しており、一定の成果があったと考えられるだろう。</p> <p>学生の理解が不十分であった理由はいくつか考えられる。ひとつは歴史的な事象に関する基礎的知識の不足である。江戸時代の遊びについて解説するために、江戸時代とはどのような時代であったのかということから始めなければならず、本来の授業内容を圧迫する原因となるだけでなく、学生の理解の焦点がぼやけてしまう結果にもつながっている。</p> <p>もうひとつの理由に、具体的イメージができていない学習内容についての理解が不十分であることが挙げられる。 授業内容の改善という点では、なるべくビジュアルに訴えかける教材を用いるという工夫は引き続き行うべきだろう。 導入・基礎・発展のような構造をより明確にするという前年度の目標はあまり達成することができず、次年度への反省点である。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>「全体の平均点を上昇させることと、秀と優の学生割合を増やすことが今後の課題である。」と前年度のリフレクションカードに書いたが、今回その目標はある程度達成できたと思う。次年度も2つのポイントを重視した授業を行ってきたい。(1)学習内容への興味関心の深まりが不可欠であり、授業内容が面白いと感じることができるものへと改善する必要がある。(2)どのような形で知識の定着を確認するのかという点についても、授業を通じて学生に理解させ、アウトプットと結びつけたインプットができるよう指導したい。 2極化してしまったもう一方に対しては、即効的なアイデアはないが、何らかの形で自分自身の経験と結びつけることで変化をもたらしたいと考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	江田 康子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
現代ビジネス人材論	2	前期	必修	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機が「必修科目である」が97.6%と高いが、卒業後の夢や目標を叶えるためにも必要科目であることを理解させながら授業を進めた。</p> <p>②オリエンテーションでは、学生に夢や目標をプレゼンさせ、リクナビ・マイナビを使い企業研究をさせレポートを提出させた。その研究項目に現代の働き方と企業価値を高める方法を加えた。</p> <p>③参加型授業を行い、自由に質問させる雰囲気を作り、学生自らが挨拶等社会人としてコミュニケーションを良好い保とうとする前向きな意識を確認した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①最終的な成績の平均値は66点であり、80点以上は9名、70点～79点は11名、再試験者が7名(40点台)であった。</p> <p>②目標別に見ると、知識理解は平均62%。DP4をプラスして平均点が66点となった。職業人としての礼儀マナー、躰教育として挨拶、立ち居振る舞い、言葉遣い等、日々の行動が企業面接に反映される旨、理解が進み意識的に相手に好感を与えるコミュニケーションが身に付いてきていること考慮した。</p> <p>③授業終了後、多くの学生が挨拶をして帰る。人と関わろうとする力、質問に対して誠実に答えようとする力、けて自己表現力はまだまだ豊ではないが、人を受け入れる力を多くの学生が持っていた。しかし現時点のレベルでは、これからの企業面接を受けるレベルとしてはまだ力不足のところがあり、「やや達成された」にした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP1, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 DP1とカリキュラムの内容について、知識理解は62%であるが、ビジネス系の文部科学省後援の検定試験の合格ラインは60%を鑑み標準的であり、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP4、行動目標からみでの内容的妥当性 模擬面接のビデオ撮影では、笑顔、立ち居振る舞い、話し方等、人に与える印象と自分自身の改善点を理解できたものとする。授業前後の挨拶(お辞儀)躰教育の実施等、社員教育をしている立場から、企業が求める人材教育として妥当であると考え。</p> <p>③学生授業アンケート評価では「今まで正しい敬語を使っていると思っていたけど、この授業を受けて、本当に正しい敬語を学ぶことが出来てよかったです。社会に出て恥をかかないためにも、しっかり授業の内容を復習しようと思います。」との記述があり、授業の内容は妥当と考える。</p> <p>④まとめ 以上のから、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①学生授業アンケートでは、授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由に「何をしたらいいのかわからない」「復習することがなかったため」という意見があった。現代ビジネス人材論はアルバイト先で、部活で、家庭内で使える学問です。学んだことは実践して身に付けて始めて自分自身のものになる旨、机に座ってノートを復習するだけでなく、様々なところで実践できる旨、学生の理解を進めていきたい。</p> <p>②学生授業アンケートに「生徒の名前を読み違えるのが何回も続き悲しかった」との記述。何度も名前を読み違えました。悲しい想いをさせたことを大変申し訳なく思っております。今後このようなことがないように注意して参ります。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>①試験において知識理解が62%。また再試験者が出たことに課題が残った。試験の範疇の広さもあるが、小テストを増やして知識を確実なものにできるようにしていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
広告宣伝論	3・4	前期	選択	いいえ	70

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>広告宣伝は、企業マーケティングの重要な要素であるが、本学科のカリキュラムには「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置されていない。そのため企業経営におけるマーケティングおよび広告宣伝の役割の理解に重点をおいている。また、広告への興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業経営を学習したことのない学生にマーケティングへの興味・理解をさせるために新聞広告、CMなどの広告に慣れ親しむ事を学習準備として示している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は昨年度開講された科目であり、上記授業準備で述べた通り、体系的なカリキュラム構成による「経営におけるマーケティングの理解が困難なため、あくまで「マーケティングにおける広告とは何か」への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容からやや達成されたと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できるが、基本的問題としてマーケティングの基礎知識としての経営学を学んでいないという、カリキュラム体系上の欠陥から、内容妥当性は評価できない。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>外部講師授業、グループワークなど授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入し問題ないと考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
行動科学	1・2・3・4	前期	選択	はい	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>講義を受ける学生との対話ある講義を心掛けたいと準備した。講義の導入に当たり学生の興味・関心のある内容を話すために、毎講義の最後に本時の講義に対する感想や質問を書いてもらうこと死している。本時終了後にその内容を精査して回答や問題定義を考えて講義に臨んだ。このことでスムーズに講義の内容には入れた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>多人数の講義だったがこれに対する評価は一定の成功を示していると思われる。それは以下の3点においてである。①成績評価のほとんどが平均以上の結果を出している。②自由記述の欄に、「ためになり、わかりやすく、面白い講義であった」と講義者の狙い通りのコメントが見られた。③学生の出席状況からみて、欠席傾向のあるものを除けば、95パーセント以上の学生が講義15回の90パーセント以上の頻度で参加していることは学習意欲の高さが示唆される。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートに記入された受講動機や自由記述を概観すると「心理学的なことに興味を持っている」「人間行動の不思議を知りたい」「人の心を理解するために必要」など心理的な知識やそれを応用したいとの意欲が伺われるので、その成果から勘案してこのカリキュラムマップと講義内容との整合性は妥当であると思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>アンケートにあった講義中の「汚い言葉の使用を控えてほしい」についてはもっともである。授業の進め方と改善課題については大きな反省としたい。私語学生に対する言葉がきつすぎたと反省している。コミュニケーションの話を学生にすることが多いが、自分の授業が対話式のコミュニケーションを図っているかという点と難しい。どちらかという点と一方向に偏りがちであった。これは質問を投げかけてもなかなかそれに答える学生がいないことにも起因しているが、それでもやはりツウエイの授業を実現する努力をはかりたいと思う。上品な日武力的な言葉使いは今後の大きな改善課題である。努力を継続したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>講義の道は経験は多いけれど、今年度の達成状況の総括的評価は3段階A,B,C評価のBの中ではなからうか。授業はアートだと思う。授業者の体調、意欲。内容の鮮度。それに受講者の体調や意欲と能力、抱える日常の悩みなどが微妙にからみ合う相互行為である。なそうとしても良い授業ができない場合もある。しかし良い授業ができたときはすぐわかる。終了後に出ていく学生の顔に如実に表れる。おいしい料理を食べたときと同じ顔になると経験的に思っている。本年度はその数においてやはりBの上であった。努力を重ねたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際ビジネス論	3・4	前期	選択	はい	56

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・貿易、投資など国際ビジネスの諸事象の実務的な仕組みを理解させること、最新の動向に関する情報を提供し理解させることに重きを置いた。また、国内外のビジネスシーンでよく使われる用語を多く説明し、理解してもらえるように努めた。就職活動でも役立ててもらいたい、また、社会人になってからの土台となる知識となつてほしい、との狙いもある。</p> <p>・用語(例えば、「入札」「合弁会社」など)は、学生にとって初めて耳にするものが多いこと、あるいは、聞いたことはあるがどういう意味か知らないことが多いことから、事例や図を使って、それらに馴染むように努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・授業評価において、「自分なりの目標を達成できた」が英語学科3.0、観光文化学科3.0なので(両学科とも昨年度とほぼ同水準)、「全体を通して」については、後述の成績評価も加味して、「やや達成」とした。「知識を新たに得ることができた」が英語学科3.3、(2016年度3.2)、観光文化学科3.2(2016年度3.1)、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」が英語学科3.1(2016年度3.2)、観光文化学科3.2(2016年度3.0)、以上から「知識理解」を上記とした。「学ぼうとしている専門分野において判断する力を得ることができた」については、英語学科3.1(2016年度3.9)、観光文化学科3.0(2016年度2.9)、ここから思考判断を上記の通りとした。「学びを深めたいと意欲」については、英語学科3.1(2016年度3.0)、観光文化学科3.0(2016年度3.1)であることから、「意欲関心」を上記とした。上記の通り、英語学科学生の到達度自己評価は観光文化学科学生とほぼ同じ水準である(2016年度は英語学科の方が上回った)。しかし、受講動機について、英語学科は27.6%が「関心のある内容である」のに対して、観光文化学科のそれは28.6%であり、あまり差はないものの、観光文化学科学生の方が若干前向きに取り組んでいた模様である。恐らく、この受講動機が、両学科の成績の差に出たのではないと思う。すなわち、総合点平均は英語学科72.4点(34名)、観光文化学科75.3点(54名)であった。なお、詳細は省くが、これは2016年度では、成績、受講動機とも英語学科の方が好ましかったことからの逆転となっている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・人文学部と両学科のDPにて、「社会科学の特定の専門分野における基礎的知識と運用能力」、「社会科学の特定の学問領域において、的確な考察および判断」、「国際的視野」「現代社会の諸問題」「ビジネスの領域についての幅広い理解と知識」「現代社会の実態を学際的な視点でとらえる能力」等が言及されているが、本科目はこれらのDP実現に資すると考える。この点、および上記の学生の目標達成状況、学生の一定の成績実績から、内容的にはほぼ妥当と判断する。なお、本科目より後期「多国籍企業」の方が難しくなく(テーマ性があり)面白いとの学生の見方があるが、本科目「国際ビジネス論」は、国内外のビジネスの基礎的な諸事項の仕組みや理屈などに関する基本的な知識、社会に出てから必要とされる知識・考え方を伝えることに重きを置いているので、内容的には続けて参りたい。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>・引き続き厳しい学生からの批判を受けた。「説明が分かりにくかったので、もう少し授業の方法を考えた方がよいと思います」「難しい内容なのに、説明がとても分かりづらくて理解できなかった」「レジュメが見にくく、分かりにくい。説明も分かりにくい」「プロジェクターに映している文字やプリントの文字が多すぎて見にくい」など、どれも分かりにくいことを訴えている。分かり易い説明をするように、改善の余地大と言えよう。内容については、長年国際ビジネスの実務に携わってきた経験から、これは是非知っておいてほしい、新聞などでも出て来る話題や用語なので、知ってほしいと思って盛り込んでいる。ただ、初めて聞く事ばかりで、なかなか頭に入らないのかもしれない。授業中には、ここは大事だから、カラーマークしておくように、試験にも出るよ、と言ったり、学生を指してやりとりし、意識を高めようなどと努力しているのだが、また、質問票を受けて翌週に回答し再度解説しているのだが、なかなか伝わっていないようで、説明をさらに改善しないとイケないようである。テ</p> <p>キストも分かりにくいと問題となっている。少し内容をカットしたり、図説を増やすなど、改善していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>課題は引き続き、分かり易い説明の強化であろう。重視している「説明は理解しやすいものであった」は、(英語学科2.8と2016年度2.8から改善していない、)観光文化学科も同じく2.8と2016年度の2.8から改善していない。これが課題であろう。以前、観光文化学科の学生から、「国際ビジネス論」は難しい、「多国籍企業論」の方が分かり易い、とのコメントを受けたことがあったが、恐らく後者ではストーリー性があるのに対して、前者(本科目)では多くの知識を伝えたいと思っているので、学生にとって馴染みのない事柄が多くとつきにくい、理解しにくいということかもしれない。成績については、前述の通り、(英語学科は2016年度より低下したが、)観光文化学科では若干良化した。この辺は、教員にとってわずかではあるが励みになる部分である。一部の学生にとっては、コース必修であるので、学生の関心を高めながら学生の理解度を高める努力をさらに続けていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際経済入門	2・3・4	前期	選択	はい	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・大切にしていることは、①学生が国際経済の事象に関心をもつこと、従って、国際経済に関する記事に目が行くようになること、②今年起きている国際経済の出来事や最新のデータを示しつつ、どういう意味を持つのか理解させること、などである。</p> <p>・授業計画では、広く国際経済の諸事象を取り上げ、関心をもつこと、学ぼうとするこのきっかけを作ろうとした。特に、外国為替の部分、貿易政策の部分はポイントとなる旨伝えた。授業準備では最新の新聞報道などの情報やデータを伝えることに努めた。</p> <p>・今年は1月に米国のトランプ新政権がTPP(環太平洋戦略的経済パートナーシップ)から離脱するといった大きな出来事が起き、日本への影響もあることを示したことなどから、学生の国際経済への関心が少し高まった感があり、望ましいことであった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・学生の「自分なりの目標達成」は英語学科3.4、観光文化学科3.2とますます(昨年度と両学科ともほぼ同水準)であり、「やや達成された」と考える。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は英語学科3.4、観光文化学科3.7であり、また、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」は英語学科3.4、観光文化学科3.6であり、知識理解は「やや達成された」と考える。「的確に判断する力を得ることができた」は英語学科3.4、観光文化学科3.6であり、同様に思考判断は「やや達成された」。「学びを深めたいと意欲をもつことができた」は、英語学科3.3、観光文化学科3.3であり、また、「職業選択の参考になった」は英語学科3.3、観光文化学科3.3であり、この辺りから、意欲関心は「やや達成された」。</p> <p>・全体を通して、成績評価総合点の平均は、英語学科70.96点、観光文化学科75.29点であり、この平均点の水準からも、「やや達成された」と言える。</p> <p>・なお、両学科合同の授業であったが、上記の通り、英語学科の成績平均を観光文化学科の成績平均が上回った。これは、昨年度2016年度前期からは2学科の結果が逆転した。この両学科の成績平均の対比は、上述の「知識」の新たな修得や「理解する視点」において、英語学科を観光文化学科が若干上回ったことを反映している模様である。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>人文学部と両学科のDPIにて、「社会科学の特定の専門分野における基礎的知識と運用能力」、「社会科学の特定の学問領域において、的確な考察および判断」、「国際的視野」「現代社会の諸問題」「社会人としての基礎的な学力」「現代社会の実態を学際的な視点でとらえる能力」等が言及されているが、本科目はこれらのDP実現に資すると考える。この点、および学生の上記到達度自己評価、上記の学生の一定の成績から、内容的には妥当と思考する。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>・国際経済の理論より実際に起きている事象の理解に重きをおき、教材に多くの写真を載せて学生の関心を引きたいと思っているが、一方、初めて経済を学ぶ学生が多いことから、理論・理屈についても十分説明して理解を向上させるようにもっと努める必要があると感じる(例えば、インフレの国の通貨は何故安くなるのか等)。「むずかしい」との学生コメントが授業中のアンケートで示され、質問票に丁寧に答えることで対応してきた。授業評価では「説明が早くてわからなかった」との感想も寄せられており、「説明は理解しやすい」が英語学科3.3(昨年度2016年度3.5)、観光文化学科3.0(昨年度2.8)となつて、観光文化学科については昨年度より若干改善されたものの、改善の余地はまだ大きい。引き続き、質問票への丁寧な回答、授業中での学生を指名してのやり取りなどを通して、分かり易い説明をさらに心がけて参りたい。大事な言葉をゆっくり話す、教材の「穴埋め」部分を繰り返し言う、図や絵をもっと多用して解説する、わかり易い事例を使つての補足説明をもっと多くする、といったことを心掛けたい。「パソコンの使い方が下手。もたもたするから一回の授業で全然進まないのでは」、「授業の進め方が第10回の教材に行ったり、9回の教材に行ったりごちゃごちゃなので、10回だったら10回の教材すべてが終わって次の行つてほしいです」の2人のコメントは、同様のことを述べているようである。時に、今扱っていることを理解してもらう上で、前に扱ったことを復習の方がよいことがあるので、前に見た教材や頁に戻ることはある。その辺は、学生のよりよい理解のために行っているもので、理解してほしい。また、教材は私の授業の場合、1つの授業と一つの配付教材とは対応していない。教材は基礎的なことを知ってもらうとして盛り込み過ぎの面はあるかもしれないが、1回の授業で終わらないことがほとんどである。私の意図するところ、つまり、国際経済の基礎的な考え方、現実の事情について、なるべく多くの知識を伝えたいということから来ているので、理解してほしい。 図示だけで終える手はあるのかもしれないが、舌足らずにならないように、文章での説明も含めて、従って、教材はコンパクトにしたい。「いつも解いていて雰囲気が悪い。注意するときはもう少し優しくしてほしい」との</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>・総括的には、観光文化学科学生からの評価は昨年度よりやや改善が見られたが、さらに改善するように取り組んで参りたい。特に、上記6の課題、すなわち、分かりやすい説明の必要性は認識しているので、初めて経済、国際経済を学ぶ学生に親んでもらえるように、経済って面白いと思ってもらえるように引き続き取り組んで参りたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国内旅行実務	1	前期	選択	いいえ	59

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験対策であるため、その合格を目的とした。分野としては、国内観光地理とJR等の運賃規則と計算の2分野からなっている。もともとJR等の分野は、細かい規則を覚えなくてはならず、しかも現実の旅行業界では、コンピューター処理されているため殆ど実用的でない。現行の本国家試験の欠点の一つであるとも言われている。その難解さと非実用性が、学生の学習意欲を減退させる側面はある。一方の国内観光地理は、白地図やスライドを使い説明や作業をしていくため、観光を学ぶ学生目線での目的に合致しており、興味は深いようである。この資格は、例えば看護師資格などとことなり、目指す職業にはかならずしも必須資格ではなく、履修途中でJR等の規則、運賃計算の難解さに、合格を諦める学生も少なくない。そのため、シラバスで示した「達成目安」を「標準レベル」に置き、単位を取得できるレベルに落とさざるを得ない状況も出てくる。一方では、本気で合格を目指す学生もおり、「達成目安」の「理想レベル」の授業も求められている。そのため、通常授業では「標準レベル」の内容とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験を目指す授業であることから、ほぼ毎週で小テストを実施した。その平均点で成績評価をする(60点で単位認定)こととした。結果は、出席数を満たした学生は全員単位取得できた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験対策授業であることから、DP1「知識・理解」をその評価基準とすることで問題ない</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>国家試験対策テキストを使用、ほぼ毎週で小テストを繰り返したため、学生アンケートによれば、予習、復習に割いた時間は他の授業より多い。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>国家試験対策授業ではあるが、そのめざす資格の職業的重要性や評価があいまいであり、学生のモチベーション持続からは難しい側面がある。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	那須 省一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
時事英語入門	2・3・4	前期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「単位数確保」と「関心がある」がほぼ半数を占めた。時事英語の講座であることから、日本語の新聞とともに英語のメディアにも普段から親しむように訴えた。6回目と11回目の授業でそれぞれ20分程度の小テストを実施して、学生の理解度を確認した。それとともに、答案を返却するに際しては、寸評を記して、受講生の学習意欲を盛り立てた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>小テスト実施時の理解度と最終の定期試験時の理解度を比較すると、多くの学生が大幅に理解度をアップさせていた。再試対象者が1人出たことは残念だったが、全体においては目標は達成したと考えている。学生の到達自己評価を読むと、ほとんどの学生が「まあまあそうだと思う」以上の自己評価をしている。「職業選択の参考になった」と答えている学生が多かったことも心強く思った。時事英語の学習ではインターネット活用が大いに助けとなる時代だが、残念なことに、インターネットを利用したと答えた学生は皆無に近かった。これは講師(私)の指導が行き届かなかった証左と受けとめざるを得ない。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>時事英語に明るければ、どのような職業に就くにせよ、大きな利点・強みとなる。少なくとも入門講座で基礎を押さえるのは妥当な選択だと思う。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては総じて、「まあまあと思う」以上の評価を得ていた。ただし、授業中に「自分の意見をまとめる」「発表する」といった学生参加の点で 不満を抱いていた学生もいたようで、まだまだ改善の余地があったと反省している。今後の課題にしたい。担当教員への意見で「先生の授業めっちゃ好きでした」と 書いてくれた学生がいたことには癒される思いだ。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>時事英語の入門講座としては基礎的知識を身に付けるという目的は概ね達成できたと考えている。ただし、受講生が授業にのぞむために図書館やインターネット などを活用したことが皆無に近かったことを考えると、指導方法に大いなる工夫の必要性を感じざるを得ない。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	古川 敬康

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
宗教と人間	1・2・3・4	前期	選択		16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 学生の授業評価アンケートにより受講生を見ると、受講動機は「単位数確保」が66.67%、「関心」が50%でかなり高い。しかし、受講生には、キリスト教以外の宗教に関する知識や理解が概してないのが現実である。そこで、宗教が人間にもたらす豊かさを説明し、宗教を学ぶ意義を明らかにした後で、日本における代表的な宗教、すなわち、神道、仏教、キリスト教を時代順に説明し、その上で、イスラム教を取り上げることとした。② 「学生の質問を受け付け、それに答える機会」としては、授業毎に、受講生が「自分の考え、感想、調べたいこと等」を記入した「自己学習記録」を提出し、次の授業で教員からコメント等を記されて返却され、全体に関わる事柄については授業中に教員から詳しい説明を受けるフィードバックが与えられるというシステムを取り入れ、授業への参加意識を高める工夫の一つとした。③ クラス自体は25人の構成であったので、関心をもてるように折々に対話形式とし質問を引き出し答える形で進行することにした。④ 身近な学習となるように中間的まとめとして、宗教の映像を用い、それまで学んだことと実際の生活とがどのように結びつくかを自ら考え確認することができるように計画した。⑤ 期末試験では、その準備の過程で、受講生が宗教に関して知識を正確なものとし、理解をより深めることができるように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>① 成績を見ると、平均値は86.77点であり、再試対象は0名であった。分布的には90点以上が7名、89～80点が4名、79～70点が2名、69～60点が0名であった。84.62%が理想的レベル(概ね80点以上)に達した。これは、受講生が25名という構成であったことから、知識習得と理解の可否を出るだけ口頭で確認し、質問に答える時も全員が知識を確認し理解を深める工夫を心掛け、学生も関心を持って授業を受け、十分な準備をして試験に臨むことができたことの結果であると評価できよう。② 学生の達成自己評価を見ると、否定的回答の「全く」はなかった。&lt;知識習得&gt;の事項では、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順に「3, 2, 5」で76.92%あり、&lt;理解&gt;では「2, 3, 6」で84.61%であったのに対し、否定的回答は、「少し」がそれぞれ2人と1人であった。専門分野の&lt;意欲&gt;&lt;技術&gt;では「1, 3, 7」、&lt;検討する力&gt;では「1, 2, 8」でいずれも84.61%で、かつ否定的回答は、「少し」が1名であった。&lt;判断する力&gt;では「1, 2, 7」であり、&lt;規範習得&gt;では「1, 1, 8」であり、いずれも76.92%で、否定回答は「少し」が2名であった。これに対し、&lt;コミュニケーションと表現力&gt;と&lt;職業選択&gt;に関しては、いずれも「1, 1, 7」で69.23%であり、否定回答は「少し」が3名であった。そして、肝心な&lt;自分なりの目標を達成した&gt;という事項では、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順に「1, 3, 7」で84.61%となり、否定的回答は、「少し」が1名であった。③ 以上の目標達成状況を見ると、全体的に達成されていると言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CPの位置づけから検討すると、総合人間科学の1つの科目として、専門分野の諸領域を超えた学習上、その根本となる総合的視点と人間性を養い広い視野に立つアプローチを可能にすることに意義がある。「若者の宗教離れ」という現代に、神道、仏教、キリスト教、イスラム教という日常的にそれほど接触しない様々な宗教を21世紀の生身の人間と関連させて理解する関心を、学生が授業のすべてに関して維持することは大変なことである。84%以上が&lt;自分なりの目標を達成した&gt;と自己評価出来たということに鑑み、内容的には妥当であったと考える。② DPの位置づけを検討すると、上記の通り、学生の達成自己評価を見ると、肯定的回答が、社会人としての基礎的学力を修得し、ツーリズムとビジネスの領域でもつ広い&lt;知識&gt;が76%台に留まったが、&lt;理解&gt;が84%台であったことで、DP1の平均は80%台となった。また、同様に、専門分野における現代社会の実態をとらえ問題解決に必要な&lt;検討する力&gt;が76%台に留まったが、&lt;判断する力&gt;が84%台であったことで、両者の平均は80%台となった。他方、地域・諸外国の問題につき関心と貢献への&lt;意欲&gt;は84%台であった。DP1とDP4の位置づけとして内容的に妥当であったと考える。③ 以上から、内容的には問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>① 学生の担当教員への意見は3件で、1つは内容につき「説明がわかりにくかった」というもので、2件は板書に関して「もっと綺麗に書いてほしい」と「字が小さいかなと思った」という要望であった。日頃接しない内容につき、少し詳細な内容に入り過ぎたかも知らないと思う。②学習量の評価をみると、予復習に&lt;1回30分以上&gt;を6回の学生が各1人、1回以上実施した学生が各4人と5人であった。授業の質評価を見ると、&lt;評価基準の明確さ&gt;と&lt;範囲と課題の明確さ&gt;については、肯定的な回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順に「2, 2, 5」と「1, 3, 5」の75.00%に対し、否定的な回答は「少し」「全く」の順に「3, 0」で25.00%あった。&lt;説明の理解しやすさ&gt;に関しては「1, 2, 7」の83.33%に対し「1, 1」で16.67%あった。&lt;学生参加の機会&gt;と&lt;学生の質問に答える機会&gt;については「1, 4, 5」で83.33%対し「1, 1」の16.67%あった。③ 以上を踏まえるとき、同じ授業でも、英語学科の学生ではすべて肯定的な回答であったが、観光文化学科の学生の回答には、いずれの事項にも否定的なものがあり、提示の仕方とか、あるいは広い教室で分散する席の配置とかに関係があるのかも知れない。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>① 授業準備として、若者の宗教離れで宗教が身近でないことから、一層身近な事柄に翻訳して講義する必要がある。また、評価基準と課題は、最初に明示するだけでなく、折々に喚起し明示する必要がある。③ 総合人間科学の1つの科目として、専門分野の諸領域を超え、その根本となる総合的視点と人間性を養う広い視野に立つアプローチを可能にする利点は、専門分野とは異なる学問する喜びをもたらし得ることにある。「学生の授業評価アンケート」に「かなりそうだと思う」という回答が多くなるようにするには、&lt;基礎的な知識&gt;が習得されたことを確認しながら進めることが必要である。特に新しい知識の習得に当たっては、基本的なことの確認が一層重要である。それには&lt;参加の機会&gt;&lt;質問に答える機会&gt;を学生が活用するように、学生を巻き込む工夫が必要とされる。③ 以上から、内容は妥当であるが、ただ、基本的な事項に減らすことが改善として考えられる。方法論としては、今後も繰り返し、明示と整理と確認の作業をおこなうこと、学生の身近なことに翻訳すること、参加の機会と質問に答える機会を活用できるように工夫することが今後の課題と思われる。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	松笠 裕之

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
宿泊産業論	3・4	前期	選択	いいえ	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は、専門科目として配当学年が3・4年生ということもあり、専門的な内容となっている。昨年まで「ホテル研究」と「ホテルマネジメント」の2科目開講されていた科目を「宿泊産業論」として1科目とした。比較的生活に密着した題材を取り扱う科目であるため受講生全員が興味を持つような話題を中心に授業を行っている。毎回の授業では、授業のポイントとコメント、疑問などを書かせて完結するように工夫している。さらに、期末テストで一夜漬けで覚えることがないように中間テストを実施している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>授業への出席状況並びに毎回のリアクションペーパーと中間テスト、最終テストの計2回の筆記試験を基に成績評価を行った。結果S評価30%(前年14%)、A評価38%(前年26%)、B評価13%(前年37%)、C評価16%(前年21%)、D評価3%(前年2%)でS評価とA評価で68%と昨年の40%と比較しても大幅に改善している。リアクションペーパーや授業評価アンケートでは、宿泊産業論の授業に興味を持ち、ホテルでのアルバイトに活用したり、ホテルの仕事に興味を持った学生なども居たため、実践的な部分での成果が確実に出ているものと思える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CP,カリキュラムマップとの妥当性については、配当学年が3・4年次という専門科目であることを考慮し、学際的な内容で講義を行っているため、社会人として使える知識の取得を目標としている点については妥当と考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>全ての講義で必ずリアクションペーパーを学生に書かせることで学生自身の授業におけるポイントの確認と学生の疑問点並びに傾向を確認できる。次回の授業では、授業のはじめ10分程度必ず復習を行い、リアクションペーパーへのコメントと疑問に答えるように工夫している。人数の関係ですべてのコメントを紹介できないのは残念であるが双方向式の授業として成績面においても成果が出ていると思っている。今後は、グループで宿泊産業における問題点や地域における宿泊産業の役割などを討論できるような機会を作りさらに深い知識習得に努めていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>この授業における目標である知識獲得については達成できたと思える。実務的な要素が強い講義であるため、視聴覚教材なども使って理解促進を図りたいと考えている。また、リアクションペーパーを使って双方向型の授業をしているが疑問に回答するのが次回ということで時間差があるため、リアルタイムに疑問に答えていけるような工夫を検討していきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
消費者行動論	2・3・4	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「マーケティング入門」と対をなす科目である。そのためシラバスでも同時履修を推奨している。この科目では企業マーケティングの基本である「消費者を知ること」を主眼としているが、消費者行動論を理解するためにはテクニカルタームの理解が必須である。そのテクニカルタームの解説と理解促進に重点をおいた。授業テキストは特に用いてはならず、担当教員の作成した配布資料とPPT、ビデオを用いて進行していくため、予習は特に課していない。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	アンケートの到達度自己評価、授業の質評価項目についてみると、上記目標状況は「やや達成された」と考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートの受講動機と学習到達度の自己評価(1)(2)からDPとの内容的妥当性はあると考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>この科目は上述のように開講3年目である。毎年受講生レベルが違い、毎週軌道修正しながら授業進行したが、内容的に多少の難しさはあったと思われる。本年度は授業開始時に前回授業の振り返りを行い、理解促進に努めた。改善課題としてはマーケティング入門の関連科目のため、双方の授業内容と進行状況を常に確認する必要がある。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>科目の性格上、テクニカルタームの説明中心の授業進行となった。課題は学習量の維持(特に復習)の工夫。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報リテラシー	1	前期	選択	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>”・受講動機は次の通り。②資格取得に必要である4.3%、③関心のある内容である60.9%、④単位数を確保する47.8%、⑤GPAをあげる4.3%、⑥友人が履修している4.3%、⑦先輩に勧められた4.3%、・予め、初学者の受講を想定して、配布プリントを用意した。</p> <p>・テキストの内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。</p> <p>・コンピュータ操作の手順、理論の解説には、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、問題の演習には、プリントの例題、問題を用いた。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。”</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・前期試験を経ての成績評価は、平均78点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.2で最も高いスコアであった。</p> <p>(1) 自分なりの目標を達成した</p> <p>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.6で最も低いスコアであった。</p> <p>(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・学科のDPの知識理解 (DP1)、技能表現 (DP5) の基礎部分を担う必修科目として開講されている。</p> <p>・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.6～4.1であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。</li><li>・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。</li><li>・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかったが、初学者向けの科目であるので特段支障はない。ただし、理論が身近な場面で活用されている事例等を参照するなどを促すことも学習の深耕に資すると思われる。</li></ul>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。</li><li>・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。</li></ul>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報科学演習 I	1	前期	選択	はい	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れていない学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。15回の授業回数の中で、中間試験を含む第8回までは基礎技術の習得を行い、第9回以降はグループワークによる実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容に対する興味喚起に努めた。</p> <p>個人差はあるものの全体的に経験値が高く、授業進行が容易であった。受講人数が少ないことから、そもそもパソコンの扱いが苦手な学生は履修せず、特に得意な学生だけが集まったという印象である。よって、もともと得意な学生の能力を伸ばす、という授業スタンスになったが、専門能力そのものではなく、その基盤となる技術習得を目指すという授業趣旨からは逸脱しているように感じる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に進められた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。</p> <p>授業アンケートの到達度自己評価では、良好な結果が得られた。</p> <p>学習量の評価については、テキストによる予習を推奨したが、授業アンケートの結果から実際の予習回数は低率であった。予習とリンクした課題を設ける等の改善策を検討したい。授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、全ての学科に存在する学科横断的科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなくグループワークによる能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であるが、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は非常に高いものの、履修率が低いため、本科目の意義を理解している学生は、学科の全学生の1割程度と推測される。授業オリエンテーションなどを通じた履修率の改善を望む。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>図書館利用で、図書や学術データベースの利用が定率であったことから、これらの利用について、明示的に指示した課題等を設定する必要があった。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。在学中の他の授業や、就職活動、就職後の実務にまで影響する内容であるため、受講率が低いことが最も問題であるが、これはシラバスを訴求性の高い内容に改善するとともに、学科レベル、教務レベルでの対応に期待したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	後藤 宇生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生活と経済	1・2・3・4	前期	選択	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	身近な経済問題を考えることとゲーム理論やマッチング理論など経済学の最近のトピックに重点を置いた。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。  *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	試験の受験者は、良い点数を取っていたことから、そのように判断した。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。  <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	最近のトピックの知識の理解はできた判断している。そのことからDP1は満たしていると考えている
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に  
お示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し  
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、  
インターネット利用」学生の意見など

映像やニュースがあるものはできるだけ利用して講義を行った。  
さらなる対策として、練習問題を増やすことを考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生からの意見や質問を受けれる時間を講義内に入れることが課題です。

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生物と生命科学	1・2・3・4	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①選択科目のため受講者のモチベーションを上げる意味で、本科目の一般教養科目としての位置付けを明確に説明した。また、科目の狙いを詳細に説明することで興味関心を持てるよう初回にパワーポイントを用い講義した。</p> <p>②例年、学生には興味関心をもってもらうことを一番とした。特に講義では”生活のなかで気づく体のしくみと異常(疾患)”に焦点をあて具体的な事例をあげながら説明した。</p> <p>③講義内容の理解度を把握するため、講義途中で学生に質問をなげかけ、不十分と思われるところは繰り返し説明した。同時に質問を受ける機会も作った。</p> <p>④レポート課題は、評価項目を明確にし、図書館の利用度を上げる工夫をした。図書館スタッフには事前に連絡し協力を仰いだ。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>①総合評価の平均値は72点((±12.5)であり、再試験対象者は1名であった。受講者の93%が標準レベル(60%以上)に達し、理想的レベル(80%)に達したのは36%だった。</p> <p>②”知識理解”の達成度は72%で、学生の”知識理解の到達度自己評価”の平均値3.7”、”知識を確認、修正、新たに得ることができた4.1”、”事象を理解する視点や考え方をえることができた3.9”であった。また、”専門分野について学びを深めたい”とする自己評価平均値は3.7であった。</p> <p>③授業の質評価は、”課題レポートの評価基準の明確さ4.1”、”説明は理解しやすいものだった4.1”、”質問を受け付け、答える機会がつけられていた4.1”と昨年に比較し評価は高かった。授業改善の効果が見られたと思われる。</p> <p>④学習時間については、30分1回以上の予復習時間をもった学生が50%、2回以上が32%、1回も時間をかけなかった学生が50%いた。また、図書・インターネットを利用した学生が36～43%、利用しなかった学生が57～64%と学習時間と図書館利用については課題が残った。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 この科目は一般教養科目であり、選択科目である。一般教養と専門領域の基礎となる知識を培う位置づけの科目で、学生も一定の成績をおさめている。学習の到達度、達成度から内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解の面で93%の学生が標準レベル以上の成績をおさめている。したがって内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>③まとめ 上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であると考ええる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の自由意見から”レポート作成に文献を使用した”と記述した学生もいる一方、学生の予復習時間にかかる時間、図書館利用率は、まだ不十分である。課題をとおし図書館を利用し、学習時間を確保する授業工夫を実施しているがその効果は不十分である。講義の中で事前に予習する箇所を明示し、講義中に確認するなど学習にかかる時間と図書の利用をアップするような授業工夫が必要である。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>一般教養と基礎知識を培うという本科目の目標は一応達成できた。昨年に比較し、学生の到達度自己評価、授業の質評価が高いことから、授業改善の効果はできていると思われる。この取り組みを継続して実施する。加えて、学生の学習時間や図書館利用率をアップさせるために上記の授業工夫を実施したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	金谷 めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
西洋の音楽と文化	1・2・3・4	前期	選択	はい	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①この授業では、西洋の文化的要素を取り入れながら、キリスト教と教会音楽の歴史を中心として解説するよう心掛けた。また、学年によって理解の差がでないよう解説した。今回の受講動機は、「単位数を確保する」と「関心のある内容である」がほぼ同じ人数であり、この二つの項目に集中していることは、音楽という科目名が、学生にとって身近で、抵抗なく履修できることを示唆するものであった。②キリスト教音楽について、ほとんどの履修者にとって初めて得る知識であるため、授業の終了時に質問および感想を書く時間をとり、学生の理解の把握に努めた。また8コマ目と最終回にレポート課題を出し、授業内容をまとめ、学生の復習への意識を高めるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均点は、75点であった。再試対象者は0名であった。全員が標準的レベルに達した。理想的レベルに達したものは6名であった。目標別にみると、知識理解および意欲関心に関してはどちらも75%であった。意欲関心では、授業で得た知識を理解し自分なりに整理し、自分の興味がある分野の文化に置き換えて考えることができるか、を問うものであり、後者は普段から様々な文化に対する意識を持つことを、初回から具体例をあげて予告することで、より達成されると思われるので、次年度に向けて検討したい。学生による授業評価においては、知識理解の観点、意欲関心の観点での自己評価に大きな差はないことが示された。この点についても、初回において達成すべき目標を示すとき、具体的な例を用いて解説するなど、工夫するようにしたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップの位置づけからみた内容妥当性：本科目は、教会音楽について解説するものであり、大学の柱であるキリスト教に対する理解の基礎的教養科目である。音楽に関心を示す受講生も多く、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。②DP、行動目標からみた内容的妥当性：成績評価から「知識理科」および「意欲関心」、そして「全体を通して」やや達成されており、内容的にも妥当であったと思われる。③まとめ：以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、学習量の評価の自由記述に、授業内で理解できたため、課題以外の自主学習の必要性をあまり感じなかったという記述があったので、学生が自ら授業で得た知識を発展できるよう、課題等を検討したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、キリスト教音楽を中心に西洋の音楽と文化について解説することで、「文化と宗教」に関する基礎知識の形成はおおむね達成できたが、意欲関心に関しては、より達成できるよう、改善を行っていきたい。授業過程を振り返ると、自由記述に書かれていた「讃美歌が楽しかった」と書かれているように、毎回讃美歌を歌う時の学生の表情は生き生きしていた。学生が主体性をもって授業に参加し、意欲関心をもって学習に取り組めるよう、さらなる工夫を重ねていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習 I A	2	前期	必修	はい	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生は1年次に、論文の書き方の基礎は十分に学んでいるが、論文を書く前の段階である「調査」については十分とは言えない。そこで、この授業では、調査のさまざまな方法を伝授した。自由記述の中にも、そのことについて理解できたという記述が見られた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全受講生が単位を取っており、その大半は「優」が「秀」であった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>必須科目の授業であり、DP、CP、カリキュラムマップを忠実に反映させるような授業を行った。学生に対しても、毎回、授業開始前にそのことを確認した上で、授業に取り掛かった。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に  
お示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し  
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン  
ターネット利用」学生の意見など

さらなる授業改善をはかって、学生の指導に貢献したいところであるが、次年度はこの科目を担当しない予定である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

せっかく満足のいく授業ができたのであるが、次年度は担当しない予定である。

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習 I A	2	前期	必修	はい	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は2クラスから成り立っており、どちらも内容は質的研究についてであった。昨年度は両クラスとも共通する教科書を用いたが、教科書の中の事例はやや古く、構成としても少々使いづらさはあった。また、同書は主として卒業論文など論文執筆に向けた(向いた)内容でもあり、履修の対象が2年生前期ということから、履修者本人達からすれば、「遠いお話」で、あまり現実味を持ってもらえなかったように感じた。当クラス担当者は2016年度に本学へ移籍してきており、教科書の選定も含め、授業運営についてももう一つのクラス担当者と事前に話し合う機会がなかった。これを踏まえ、今年度はもう一つのクラス担当者と協議し、教科書は別のものを使用することになり、担当者としても授業が行ないやすくなったため、効果が向上したと考える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>上記3に関連するが、独自に選択した教科書を用いたため、授業はよりわかりやすくなったと考える。また、受講者各人の努力もあって単位修得率は96%(25名中24名修得)と前年度よりも高い数値を出すことができた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>上記3, 4にも関連するが、教科書を独自に選択するようになったことが今年度最も大きな改善である。ほとんどの学生は真摯に受講してくれたが、ごく一部(仲良しのグループ)に(単位は及第的に修得したものの)受講態度が好ましくなく、教科書の内容を充分に把握したとは言い難い者もいた。なかなかすべての学生と密に接することは難しいが、少しでも改善できるよう真摯に頑張りたい。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「演習」科目ということで、特に双方向の授業を心掛けた。受講生には授業中に積極的に意見を訊いたり、また、1カ月に1度、A4用紙2-3枚程度のレポートを提出してもらったりした。その結果、自分で考えるという作業に慣れてもらうことができ、今後の人生に繋がる一助となりえたと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>すでに示したように授業の工夫や丁寧な対応により、概ね良質な講義となったと考える。すでに上記で説明した昨年度の「教科書問題」も解決し、さらに、演習科目や英語科目など複数の科目で適用される入学時から固定したA、Bというたった2つのクラス(学生の振り分け)をこの科目では学籍番号の奇数と偶数で分けた。その結果、学生はこれまであまり接したことのない学生(たとえば自身がAクラスであれば、Bクラスの学生)とも交流ができ、学生時代にさまざまな考え方に触れるという点も改善できた。このように改善できる点は速やかに改善できるようこれからも真摯に努力していきたいと考える。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
総合人間学概論	1	前期	必修	はい	62

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①授業回数が8回であり、学生には欠席は二回までが限度であることを学期最初に掲示で伝えた。②学生の準備性については、必修科目であることが100%で、次いで単位数を確保するが7%であり、内発的な動機が高いとは言えない。これは例年のことであり、人文学部の両学科の一年生が対象であり、これから4年間の時間がある学生に関心があることを伝えるようにして、学習意欲を高めるようにはしている。③2015年度までは、提出課題は2種類(両学科長の担当回についてのレポート)、7月下旬を締切とする最終レポートであったが、2016年度より、もう1回分(最終回授業分のレポート)を加えて、評価を細かくした。このレポート追加の目的は、授業を聞いて、その授業時間内での提出レポートであることで欠席が少なくなるように意図したものである。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①最終的な成績を出す原資料として、レポート三回分を見ると、最も配点が大きい最終レポートは、60点の配点であった。ここは学生側にレポート作成に2週間程度の時間があり、そこでかなりのリサーチがなされていたことが分かった。評価は、S(=A)、Bが同様に41.9%であった。DP1-1(知識・理解)が、学生の評価では3.4であることや、到達度自己評価の中で「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」が、3.5と3.4の評価であったことから、まずは妥当であろう。②リサーチが十分であったとしたが、授業評価の「図書館利用」では、三項目中、(3)の「この授業では、インターネットのホームページを検索し、利用した」が、回答者43名中3名で最多であった。大学に入学したばかりであり、他の授業科目との連携が前提だが、図書館(図書、雑誌、学術データベース)の利用を促すように、さらに検討を進めたい。③2回の授業レポートと3回目のレポートの成績には明確な対応関係がある。日頃の授業の取り組みが熱心な学生は、最終レポートも優秀である。このことから、日頃しっかり授業に出ることが大事であると、強く訴えたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①総合人間科学に位置するこの必修科目のキーワードは、「感恩奉仕、問題意識、健康、キャリアデザイン」である。これらのキーワードで、DP1とDP4をカバーしている。全8回で、各回の担当者が異なる構成であり、それぞれの回が、これらのキーワードを全て担うわけではない。どれかに特化した内容であり、全体としては、DP実現を担保できるようになっている。それは、最終レポート内容で判断できる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業評価の授業の質評価で、(4)授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていたが、平均点2.8である。また、(5)口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていたが、平均点2.9である。平均点が3を切ったのはこの2つの項目だけである。学部単位であり、担当者が毎回変わる方式であり、大教室での学部合同以上のクラスサイズの授業で、どのような方法が学生の参加を生み出せるのかを検討していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>①1年前期に、8回の講義からなる総合人間科学領域の授業である。新入生全員が受ける授業科目であり、西南女学院の大学教育の根幹を学ぶ。基礎的知識理解については概ね達成できた。DP4の態度については、出席状況や受講態度からの判断が中心であるが、授業内容そのものの中に直接取り込んでいる回(最終回)もあった。②最後の授業レポートと最終レポートは、このリフレクションカード担当者が採点をした。過去三年間は、学部からは、カード作成の担当者(両学科長)が、一回(90分)担当したが、本年度はそれがなくなったので、雰囲気がいまひとつつかめない。今後同じような持ち方の授業があれば、それを復活させることを希望します。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中級中国語	2・3・4	前期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>中級中国語はすぐに役立つ生活場面の会話を学習する。入門・初級中国語で学んだ基礎知識を復習しながら、口語文を中心に進む、また基礎的な中国語の総合的な能力を高めるために、できるだけ会話の練習をしてもらう。学習者の自信を引き付けるようにしてきている。さらに文法の理解を確認するために、中国語で日記を書いてもらったり、長文を作ってもらったりしていた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として試験を作成)に達したものは33名となった。目標別にみると、知識理解・技能表現に関して85%であった。学生による授業評価においては、①授業の課題以外に学習していない理由としては授業の中だけで十分だったから。授業のことだけで精いっぱいだったから。②授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習としては、よくノートを見る、などを挙げられる。近年中国語の検定試験を受ける学生が減少しているが、次年度に受験できるような体勢を整えていきたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけから見て、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の評価においては「いつも楽しく授業が受けれました」、「とてもわかりやすく楽しい授業でした」、「とても丁寧に教えてくれたので助かりました」などがあつたが、学習者の発表時間が想定より少なかったことも反省点である。次年度に向けては学習者に積極的に授業に参加するよう工夫を凝らしていきたい。また欠席常習者が欠席しないように指導を加えたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>基礎的な知識だけでなく应用能力を高めるために毎回の狙いを具体的に示すこと、可能な限り会話練習を取ることで、じっくり文法の消化を加える時間がなかったため、授業中に練習時間と予習課題の提示などで改善を図る。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国の社会と文化	1・2・3・4	前期	選択	はい	62

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①1年生から4年生までの総合人間科学の授業であるので、授業の最初に中国への理解や学習準備状況の確認アンケートを行い、不足の項目に△△を新たに加えた。</p> <p>②国際的視野に立って中国のことを幅広く学び、考えながら、異なる社会文化に触れていった。15回授業にそれぞれ異なる内容の勉強により、より深く異文化理解をしてもらった。</p> <p>③中国社会文化に関心を向上させるために、10回目にレポートを提出してもらっていた。</p> <p>④学習状況を確認するために15回目にテストを行い、学生の意欲を高めるためである。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として試験を作成)に達したものは45名となった。</p> <p>目標にみると、知識理解に関しては学生による授業評価においては授業の課題以外に具体的に取り組んで学習はPCで調べたり、学生のそれぞれの関心問題—中国の科学・教育などに関心問題を調べたりしたことが示された。これは学生が思考判断で何が問われているかを提出されたレポートは幅広い領域に亘った豊富な内容であった。但し、授業の課題以外に学習していない理由については「なにをすればいいか分からなかった」、「特にすることがなかった」などの自己評価が示された。これは、勉強に積極的、自覚していなかったことが考えられる。次年度に向けて明確に指示・指導しなければならないと反省点が考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性</p> <p>本科目は総合人間科学の科目であるが、総合的な視点と豊かな人間性を養うための教養教育科目の位置づけ、学習者の国際的社會文化を修得して国際的な視野を広げ、多様化、多様性を複眼的に備える人間の育成の内容的には妥当であると考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習量評価において、授業の課題以外に学習していない理由としては、配布された資料がしなかったから、何をすればいいか分からなかった。特にすることがなかった、等が挙げられた。次年度に向けては、まず学習量・範囲をより具体的に示したうえで、学習時間・学習量・方法を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>総合人間科学にあたる本科目の位置づけから教養教育グローバル化社会に臨んでいる大学生としての教養を得ること。中国社会文化を学習すると同時に、関連する日本の社会文化などを理解してもらうこと。 以上から毎回の狙いを具体的に示すこと、可能な限り考える時間を取ること、復習課題を意識的に提出できるように、工夫を凝らしていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語 I	1・2	前期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は中国語の基礎知識を学習するものである。初心者にとって外国語は難しい、とくに発音の難しい中国語は、挫折しやすい。授業の実施にあたり大切にしていたことは学習者により学習習慣を身に付けさせ、楽しく学ばせることである。今回の受講動機をみると「関心のある内容である」が79.2%であり、よいスタートであったと感じた。授業ではちょっとハードな発音練習のあと、中国の文化や風習、考え方、最新事情なども紹介したりして、学習者のモチベーションを高め、さらに関心を引き付けるようにしている。</p> <p>②開講時に4段階の学習目標や、学習方法を明示し、「学習状況記録表」を作り、学習者に配布し、学習効果を常に確認できるようにした。</p> <p>③各課に漢字テスト、暗記テスト、コミュニケーションを行い、学習者に「わかった、できた、つながった」の学習喜びを感じさせ、間違ったところをしっかりと復習しようという意識を高めるようにした。</p> <p>④各課学習したあと、「マイ・コミュニケーション中国語」のリストを作成させ、モチベーションを高めるようにし、次のステップへ進む準備をさせた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は84点であり、標準的なレベルに達し、理想的レベルまであと少しであると言える。</p> <p>学生による到達度自己評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.5で、中央値は5.0であり、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.5で、中央値は5.0であった。平均値と中央値に差が見られたことは大多数の学生は到達と実感しているが、一部の学生は十分に到達していないと感じている。来年度はよく多くの学生が「分かった・できた・つながった」と実感できるように、授業研究したいと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容の妥当性</p> <p>本科目は「総合人間科学」に属する選択科目であるが、観光文化学科の専門教育科目――中国語通訳ガイド演習や観光中国語などの基礎となる重要な位置にある。この段階で学生により学習習慣を付けさせ、中国語の基礎知識をしっかりと把握させ、分かる、できる、通じるという喜びを感じさせ、中国語大好き人間にさせることが最も重要だと考えて授業を進めた。学生も優秀な成績を取っていることから、内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容の妥当性</p> <p>「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の項目の平均値は4.3、中央値は5.0であり、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の2項目の平均値と中央値が共に4.0であることからみて、内容的には妥当であったと考ええる。</p> <p>③自由記述の意見</p> <p>自由記述から、「中国語を学ぶことができてよかったです。とても楽しく授業を受けることができました」、「とっても楽しかったです」などがあつた。これらの記述からみて、内容的には妥当であったと考ええる。</p> <p>以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習者の学習状況を常に確認し、無理のないように授業を進めていた。 学生から「生徒一人一人をきちんと見ていることが分かる。すごく優しくて授業もわかりやすいです」、「篠原先生の授業は非常に理解しやすく、毎週月曜日の1限を楽しみにしていました。また先生の授業をうけたいです」などの感想があった。 また、「中国の文化など話を聞きたいです」という意見があった。中国語の基礎学習をしっかりとできた上で中国文化などの話を増やしていきたいと考えている。 今年度は家庭学習の方法についての紹介を行った。学生たちは授業の課題以外に以下の学習を実際に取り組んだ。①CDを聞いて発音の練習をした、②暗記するために暗記する、③教科書のポイントをまとめた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>「総合人間科学」の一科目として、それから「専門教育科目――中国語通訳ガイド演習及び観光中国語」を受講するに必要な予備知識としての本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できた。 来年度に向けての課題は、来年度の学習者の心理や好みをできるだけ多く把握し、学習者に合った教授法を研究することである。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
入門中国語会話	1	前期	選択	いいえ	59

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①一年生を対象とする授業で、全員が中国語初めての学習なので、中国語の特徴と学習方法を説明する。中心に中国語の発音、基本文法の学習、会話の練習を通して、中国語の言葉話し方、習慣の表現などの特徴を理解し、基本応用能力を身に付けます。更に中国語に対する理解を深めるために、中国の歴史、文化、中国事情を適宜に紹介する。 ②学生の学習への意識を高め、学習状況を確認するため、ユニットごとに確認テストを行う。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は89点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として試験を作成)に達したものは42名となった。 学生による授業評価においては、「知識を確認、修正したい、新た得るところができた観点での自己評価にかなりそうだと思う」と「新しい知識を身に付けたと考えられる」。「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意識をもつことができた」。「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」においてはそれぞれ30名と高かった技能表現に達している。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性。 本科目は「専門教育科目」であるが、「専門基礎科目」と「専門基幹科目」をつなぐ要の位置にある。内容的には妥当であると考え。 ②DP、行動目標からみでの内容的妥当性。 異文化、多言語の領域の成績は上昇したことから内容的には妥当であったと考える。 ③まとめ 以上からの内容的妥当性には問題はないと思われる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、</p> <p>「テスト、レポート、提出物など評価基準は明らかであった」 「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」 「説明は理解しやすいものであった」 「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生参加する機会が作られていた」 「口頭。文書などで学生の質問を受け付け、答える機会が作られていた」については高く示されていた。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>専門応用科目の入り口にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形式については概ね達成できたが、コミュニケーション能力の面で課題を残した。この点は「専門基幹科目」で結びつき、引き続きで指導する予定である。 学生に中国語で日記を書いてもらっているが、来年度により綿密に実施することをしたい。</p>
------------------------------	--